

「笑顔」輝くまち

6.コミュニティに関する施策

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	コミュニティ
基本方針	市民自治の確立		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	6-01-①	施策名	市民自治の確立のための活動支援と環境整備	

施策の概要
市民や地域主体の組織の活動を支援するとともに、まちづくりの多様な主体間の連携を図り、協働を促進します。また、学びやにぎわい、交流を促進できるよう、市民ニーズに応じた拠点の活用を進めます。

成果指標(単位)	市民主役のまちづくりが進んでいると思う市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	24.6	25.7	26.8	27.9
実績値	23.5	23.2			

成果指標実績に対するコメント
市民総合交流センターや地域まちづくりセンター等において特色のある事業展開がなされているため、そうした情報を広く届けられるよう市民への周知に力を入れる必要があると考えられる。

施策の達成度評価
地域まちづくり一括交付金、地域課題解決応援交付金などの適正な運用について、まちづくり協議会へ共有するとともに、まちづくり拠点の充実を図り、地域の主体性が促進できるよう、組織運営への助言および財政的な支援を行った。 また、市民総合交流センターを活用し、多様な主体の交流の場となる取組を行った。 さらに、公益財団法人草津市コミュニティ事業団が運営し、市民総合交流センターで実施するラウンドテーブルでは、市民活動団体やまちづくり協議会などの多様な主体との連携や交流の場となった。また、市の新規採用職員研修と合同で実施する機会を設け、市職員の協働意識の向上を図った。引き続き、市民活動団体だけに限らず、地縁団体等の多様な主体の参画を促す必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」があり、偏差値が70を上回る結果であった。 各まちづくり協議会への支援や公益財団法人草津市コミュニティ事業団による交流の場の創出により、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、各種支援や交流・参画を促進することで、市民や地域主体の組織の活動の活性化が図れるよう取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
地域まちづくりセンターおよび市民総合交流センターを市民活動の拠点として活用し、テーマ型と地縁型の双方の市民活動が活性化することで市民主体のまちづくりとなるよう推進する。 また、まちづくり協議会を主体とする各小学校区の地域づくりを推進するため、地域まちづくり一括交付金および地域課題解決応援交付金を円滑に活用していただくよう支援する。
市民や地域主体の組織の活動を活性化することで、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも繋がると考えており、今後も地域課題に活用できる財政的支援や交流の場等を通じて、にぎわいの創出に向けて取組を進めていきたい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
まちづくり協議会推進事業	まちづくり協働課	○	地域まちづくり一括交付金、地域課題解決応援交付金など、地域の主体性が促進できるように支援を行ったため。
市民総合交流センター管理運営事業	まちづくり協働課	○	市民活動の交流拠点として、市民総合交流センターにおいてキラリエマツリやキラリエ秋まつり、キラリエクリスマスを実施し、多様な市民の交流を促進したため。
地域まちづくりセンター管理運営事業	まちづくり協働課	○	まちづくり拠点の充実やまちづくり協議会の組織運営への助言、財政的な支援を行い、地域活性化を図ることができたため。
協働のまちづくり条例推進事業	まちづくり協働課	○	草津市協働のまちづくり・市民参加推進評価委員会を2回開催し、協働のまちづくり推進計画の進捗を適切に評価できたため。

■施策評価シート6-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
地域まちづくりセンター整備事業	まちづくり協働課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
32	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3			
		偏差値	66.6	68.6			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	86							

■施策評価シート

6-02-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	コミュニティ
基本方針	基礎的コミュニティの活性化		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	6-02-①	施策名	基礎的コミュニティ活動の支援	

施策の概要

住民の実態やニーズの把握に努め、地域の諸課題を地域とともに向き合いながら、解決できるよう支援を行います。

成果指標(単位)	地域の組織やグループに加入している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	33.5	34.2	35	35.7
実績値	32.7	29.9			

成果指標実績に対するコメント

高齢化や市民同士の交流の希薄化に加え、共働き世帯増加による担い手不足が要因になる等、町内会を取り巻く課題が多岐にわたっている中で、町内会加入率については、前年度比で1.6ポイント減少し、82.0%(令和8年3月末時点)になったが、町内会設立数は、前年度比で3町内会増加し、224町内会(令和8年3月末時点)となった。

施策の達成度評価

円滑な町内会運営の支援や担い手不足の解消への一助となるべく、町内会長全体説明会でまちづくり資料集で担い手確保の手法や町内会の工夫した取組を紹介すること併せて、随時、町内会長戸別訪問や町内会設立に向けた相談対応を行うなど、町内会活動の支援を行った。引き続き、町内会の活動促進に向けた支援を行う必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32 私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している」があり、いずれも偏差値が70を上回る結果であった。
本市は、全学区でまちづくり協議会が設立され、町内会と相互連携されており、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、町内会の支援を行うことで、担い手不足の解消や活動の活性化が図れるよう取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

町内会における運営体制や各種活動についての課題への対応に向けて、町内会長戸別訪問等を通じて、地域とともに住民のニーズや実態の把握に努め、町内会の支援を継続する。

町内会活動を活性化することで、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも繋がると考えており、今後も町内会長戸別訪問等を通じて、地域課題の対応に向けて取組を進めていきたい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
行政事務委託事務	まちづくり協働課	○	地域と行政をつなぐ橋渡しとして、行政事務の一部を委嘱し、市行政を円滑に運営することが出来たため。
コミュニティハウス整備補助事業	まちづくり協働課	○	集会所整備が進むことで、基礎的コミュニティの活動の活性化を促したため。

■施策評価シート 6-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
コミュニティ活動初期備品整備補助事業	まちづくり協働課
掲示板設置補助事業	まちづくり協働課
自治会活動保険加入補助事業	まちづくり協働課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】									
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度		
32	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	実数	3.4	3.4					
		偏差値	74.1	74.1					
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2					
		偏差値	73.5	74.7					
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9					
		偏差値	60.7	61.3					
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5					
		偏差値	78.3	80.0					
36	私は、この町内(集落)に対して愛着を持っている	実数	3.3	3.3					
		偏差値	66.6	68.6					
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考	
客観指標No. (令和7年度)			86						

■ 施策評価シート 6-03-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	コミュニティ
基本方針	市民公益活動の促進		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	6-03-①	施策名	市民公益活動の支援	

施策の概要
ボランティアや各種団体等の公益活動を支援するため、中間支援組織である(公財)草津市コミュニティ事業団等と連携を図り、活動を支援する補助金制度の活用や、まちづくり講座、交流イベントを積極的に実施します。

成果指標(単位)	市および中間支援組織が開催する地域人材育成講座の延べ受講者数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	670	680	690	700
実績値	666	431			

成果指標実績に対するコメント
令和6年度まで社会福祉協議会が実施されていた福祉教養大学・大学院等の講座が、令和7年度から複数の関連講座と集約されたこと、また地域人材育成講座は年度により受講者数が前後することから延べ受講者数は235名減少した結果となった。地域人材育成講座はニーズに沿って効果的に実施いただいているものであり、地域人材の育成を継続的に実施できているので、今後は広く市民への周知に力を入れる必要がある。

施策の達成度評価
市民公益活動の支援に関しては目標値を下回ったものの、成果指標である地域人材育成講座の開催以外にも、ラウンドテーブルや市民公益活動団体同士の交流を深める事業や、市民公益活動団体等への活動助成等も行っており一定の成果を上げている。引き続き学区や市民公益活動団体および市民への周知を図りながら、受講者のニーズに応じて講座内容の充実を図っていく必要がある。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」があり、偏差値が70を上回る結果であった。 本市は、草津市コミュニティ事業団や社会福祉協議会が中間支援組織として地域のまちづくり活動や市民活動等の活動支援を行っていただいております。今後も中間支援組織と連携し、市民公益活動等のさらなる活性化に取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の実績についての考え方
講座の開催にあたっては、引き続き社会情勢や市民のニーズに応じたテーマ設定を行い、多くの方に参加いただきやすい内容となるよう工夫するとともに、互いの活動が繋がるような仕掛けづくりを行っていく。また、キラエ草津での実施事業については、多様な世代や価値観を持つ市民それぞれの関わりしろを増やせるよう工夫していく。 また、協同労働については、引き続き、まちづくり協議会等と連携しながら普及・啓発に努めるとともに、個別相談会を行いながら、協同労働団体等の立ち上げを支援していく。
市民公益活動の支援は、「No.33 私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」というウェルビーイングの向上の一端を担うことから、引き続き地域人材育成講座の実施や、まちの担い手同士の交流、活動助成などを行っていく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
(公財)草津市コミュニティ事業団運営費補助事業	まちづくり協働課	○	多様な世代の市民にアプローチした内容の講座を展開することで、団体同士の交流を促進させたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
市民活動推進事業	まちづくり協働課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		89							

■ 施策評価シート 6-04-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	コミュニティ
基本方針	多文化共生社会の構築		基本方針に関連するSDGsの目標	 
施策番号	6-04-①	施策名	多文化共生の推進	

施策の概要
国籍などの違いにかかわらず、共に支え合い、誰もが安心して暮らせる多文化共生の地域づくりを進めるため、草津市国際交流協会と連携し、外国人住民のコミュニケーションや生活に関する分野の支援を行うとともに、日本人住民の国際理解の推進に努めます。

成果指標(単位)	「多文化共生社会の構築」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	15.5	16.2	16.9	17.6
実績値	14.8	14.5			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、多文化共生社会の構築に満足している市民の割合は前年度に比べ0.3ポイント減少し、目標値を達成することができなかった。外国人住民が増加する中、草津市多文化共生推進プランに基づく市民向けのやさしい日本語研修会や、市内の小学校でのやさしい日本語出前授業等の実施、市ホームページの多文化共生に関するページの充実を図ったが、各取組について市民への更なる周知が必要であったと考えられる。

施策の達成度評価
やさしい日本語研修会を市職員向けと市民向けに各1回開催し、外国人住民とのコミュニケーション支援につなげた。また、市内の小学校に通う児童を対象に、やさしい日本語出前授業を行うなど、多文化共生への理解の推進を図った。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.37 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」であり、偏差値は55を上回る結果であった。 本市では、外国人住民の数が増加傾向にある中、多文化共生のまちづくりを進めており、引き続き、国籍等の違いにかかわらず、全ての人が活躍できる地域社会となるよう、令和8年3月に策定した第2次草津市多文化共生推進プランに基づいて取組を進めていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
第2次草津市多文化共生推進プランに基づき、引き続き、草津市国際交流協会と連携しながら各種事業を推進する。また、事業推進の際は、広く市民に周知できるよう広報活動に努め、多文化共生に対する市民の意識向上や、多文化共生の地域づくりに繋げる。
多文化共生社会の構築は、「No.37 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」という指標にかかるウェルビーイングの向上にも資する取組であると考えており、引き続き、多文化共生への理解や外国人住民とのコミュニケーション支援等の取組を行っていく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
国際交流推進事業	まちづくり協働課	○	草津市国際交流協会と連携し、草津市多文化共生推進プランに掲げる各種取組を実施したため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		95							

7.地域福祉に関する施策

■施策評価シート

7-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	「地域力」のあるまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-01-①	施策名	地域福祉の担い手の育成と活躍の促進

施策の概要

中間支援組織である(福)草津市社会福祉協議会と連携し、福祉講座の実施や各種ボランティア活動への支援等を通じて、地域福祉の担い手の育成や地域で活動する人の輪を広げます。また、民生委員・児童委員等の福祉の担い手が活動しやすい環境を整えます。

成果指標(単位)	民生委員・児童委員活動日数(日)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	46,000	46,000	46,000	46,000
実績値	45,837	43,473			

成果指標実績に対するコメント

委員活動日数は前年度比で2364日(-5.2%)減少し、一人あたりの年間活動日数もおおよそ9日減少した。
3年に一度の委員一斉改選の年度であったことから、新旧委員間の引継ぎがあり、通常地域活動に充てられる時間が一時的に減少したものと考えられる。

施策の達成度評価

(福)草津市社会福祉協議会と連携し実施している福祉教養大学や福祉委員を対象にした学習会等の内容を見直したことにより、地域福祉の担い手の育成やボランティア活動の活性化に繋げることができた。
また、民生委員・児童委員(以下「委員」という。)の一斉改選や各単位民児協(14民児協)の会長および市民児協の主任児童委員代表に対し、ノートパソコンを配備するなど、委員が活動しやすい環境の構築に努めた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内(集落)に住む人たちに信頼している」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。
ウェルビーイングの観点からも、引き続き、ボランティア活動の活性化や民生委員・児童委員が活動しやすい環境の構築に努めたい。

評価に基づいた令和9年度取組についての考え方

委員が地域のパイプ役として、日常的な見守り、声かけ、個別相談などに安心して取り組めるよう、引き続き(福)草津市社会福祉協議会との連携を強化し、委員活動の支援、活動しやすい環境の整備を行う。
また、(福)草津市社会福祉協議会が実施する地域福祉活動をテーマにした講座やボランティアの育成・活動等への支援や委員活動の情報発信を通じて、若い世代の福祉意識の向上や新たな地域福祉の担い手の育成・確保の取組を進める。

地域福祉の担い手の育成やボランティア活動の活性化、民生委員・児童委員が活動しやすい環境の構築は、「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内(集落)に住む人たちに信頼している」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、高い水準を維持・向上できるよう、上記の取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
民生委員児童委員協議会活動補助事業	健康福祉政策課	○	各単位民児協(14民児協)の会長および市民児協の主任児童委員代表に対し、ノートパソコンを配備するなど、民生委員・児童委員がより効率的に活動できるよう環境の整備を行うことができたため。
社会福祉協議会活動補助事業	健康福祉政策課	○	(福)草津市社会福祉協議会において、草津市福祉教養大学等の見直しを行い、福祉講座やボランティアマルシェを開催するなど、地域福祉の担い手の育成を図ることができたため。

■施策評価シート 7-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
民生委員児童委員諸事務	健康福祉政策課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
32	私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		89							

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	「地域力」のあるまちづくり	基本方針に関連するSDGsの目標	              
施策番号	7-01-②	施策名	地域福祉を支えるネットワークづくり

施策の概要 各学区社会福祉協議会およびまちづくり協議会や町内会の活動等を中心に暮らしの問題を解決する住民主体の活動を広げ、地域で支えるネットワークづくりを促進するため、地域福祉関係者との連携により、「地域力」を高める取組を推進します。

成果指標(単位)	避難行動要支援者名簿への登録者数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	4,600	4,700	4,800	4,900
実績値	3,901	4,462			

成果指標実績に対するコメント 昨年度より登録者数は500名以上増加したが、死亡・転居等による登録を抹消される方もいたことから、目標値に対する達成率は97.0%と未達となった。

施策の達成度評価 令和6年度にWeb申請(電子申請サービス)を開始したことにより、登録しやすい環境が整備できたほか、登録勧奨の対象者を従来の新規対象者に加えて、80歳の未登録者にも拡大し、当該制度の普及啓発を図ったことから、登録者数が大幅に増加した。 その他、住民主体の活動を広げるために、(福)草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、地域福祉活動の促進を図ることができた。 当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している」「No.29私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」があり、おおむね偏差値が60を上回る結果であり、実数・偏差値ともに維持または向上していた。 ウェルビーイングの観点からも、引き続き、(福)草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、地域福祉活動の促進に取り組んでいきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方 登録者数増加に向け、アプローチ対象の検討を行うとともに、地域内における助け合い・支え合いの仕組みとして、本制度が有効に機能するよう、引き続き未登録者への周知・啓発、および他自治体の取組等を参考に調査検討を行う。 また、(福)草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通して、引き続き地域福祉活動の促進を図る。 (福)草津市社会福祉協議会及び社会福祉関係団体の活動支援を通じた地域福祉活動の促進は、「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.33私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである」「No.32私は、同じ町内(集落)に住む人たちを信頼している」「No.29私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.37この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、高い水準を維持・向上できるよう、上記の取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
社会福祉関係団体補助事業	健康福祉政策課	○	社会福祉関係団体が行う活動への補助・支援を通じて、地域福祉活動および地域で支え合うネットワークづくりを進めることができたため。
地域福祉計画推進事業	健康福祉政策課	○	(福)草津市社会福祉協議会が実施する各種事業に対して補助・支援を行うことを通じて、地域における助け合い・支え合いの推進を図ることができたため。
避難行動要支援者登録制度推進費	健康福祉政策課	○	登録申請書の見直しやWeb申請の導入とともに、登録勧奨の対象者を拡大することで、避難行動要支援者名簿の作成・登録を推進することができたため。
地域コミュニティ支援推進事業	人とくらしのサポートセンター	○	高齢者等ごみ出し支援事業の制度化により、ごみ出し支援団体が結成され、ごみ出しに困難を抱える方を地域で支える仕組みづくりが進んだことで、地域の支え合い・助け合い活動の推進につながったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
社会を明るくする運動啓発推進事業	健康福祉政策課
戦没者遺族等援護推進事業	健康福祉政策課
福祉バス運行事業	健康福祉政策課
福祉事務所運営事業	健康福祉政策課
戦没者遺族等援護推進事業	人とくらしのサポートセンター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
29	私の暮らしている地域では、防災対策がしっかりしている	実数	3.2	3.3			
		偏差値	62.6	66.0			
32	私は、同じ町内(集落)に住む人々を信頼している	実数	3.4	3.4			
		偏差値	74.1	74.1			
33	私の暮らしている地域では、地域活動(自治会・地域行事・防災活動等)への市民参加が盛んである	実数	3.2	3.2			
		偏差値	73.5	74.7			
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
		偏差値	60.7	61.3			
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
		偏差値	78.3	80.0			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	73	75	86					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	地域福祉
基本方針	福祉の総合的な相談・支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-02-①	施策名	セーフティネットの充実	

施策の概要
経済的な困窮等、市民の生活安定の危機に対し、福祉施策や年金、重層的支援体制整備事業による支援、生活保護制度の適用等を行います。また、働く意欲と能力のある人への就労支援や、住まいに困窮される人への市営住宅等の供給を行います。

成果指標(単位)	就労を理由として生活保護を廃止したケースの比率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	2	2	2	2
実績値	1.6	2.3			

成果指標実績に対するコメント
就労を理由として生活保護を廃止したケースの割合は、令和5年度の1.0%(9件/915世帯)から令和6年度の1.6%(15件/970世帯)と0.6ポイント増加し、令和7年度は2.3%(23件/1,025世帯)となり、目標値を達成することができた。 ケースワーカーや就労支援員による継続的な就労支援や就労意欲の喚起に加え、ハローワークをはじめとした関係機関との連携による支援を実施した結果、就労による自立につながったものと考えられる。

施策の達成度評価
生活保護制度により市民の最低限度の生活を保障するとともに、ケースワーカーや就労支援員による就労支援、ハローワークをはじめとした関係機関との連携支援を実施することで、就労による自立につながることができた。また、生活困窮者自立支援事業や重層的支援体制整備事業と連携し、就労に直結しない課題を抱える方に対しても、相談支援や社会参加支援等を行うことで、自立に向けた支援を進めることができた。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」「48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」があるが、いずれも偏差値が55前後であった。 本市は、交通アクセスが発達していることから、就労先を市内に限定することなく、市外に求めるケースも多いが、ウェルビーイングの観点からも地域資源の活用に向け、市内の就労先を新規開拓するなど、就労支援がより効果的になるよう手法を検討したい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
被保護者のうち稼働能力のある方に対しては、引き続きケースワーカーや就労支援員による就労指導・就労支援を実施するとともに、ハローワークをはじめとした関係機関との連携を強化し、就労による自立を支援する。また、就労に向けた準備や生活面での課題を抱える方に対しては、生活困窮者自立支援事業や重層的支援体制整備事業を活用しながら、相談支援や社会参加に向けた支援等を行い、一人ひとりの状況に応じた段階的な自立支援を推進する。
就労支援の取組は、単に就労先を紹介するのではなく、「48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資するように、ケースワーカーや就労支援員が被保護者に寄り添い、関係機関と連携しながら事業を実施していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
生活保護費支給事務	生活支援課	○	生活保護を申請された方に対して、資産調査等を実施し、適正に生活保護を適用したため。 また、被保護者の収入状況を的確に把握し、適正に生活保護費の支給を行ったため。
多機関協働等事業	人とくらしのサポートセンター	○	既存制度や各分野のみでは対応困難な複雑化・複合化した課題等を抱える世帯に対し、総合調整(コーディネート)やアウトリーチ支援、参加支援等を実施した結果、自ら支援につながることが難しい人等へ包括的な支援を行うことができたため。
国民年金事務	保険年金課	○	国民年金への加入、学生納付特例、免除・猶予等の申請受付および年金相談を実施した結果、被保険者の年金受給権を確保することができ、健全な生活の維持および向上に寄与することができたため。
市営住宅運営事業	市営住宅課	△	住まいに困窮される方に市営住宅の新規募集を行っているが、老朽化等により募集可能な住戸を十分に提供できていないため。

■施策評価シート 7-02-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
公営住宅建設事業	市営住宅課
生活保護費返還金債権管理回収事務	生活支援課
生活保護法施行事務	生活支援課
行旅病人・行旅死亡人に対する扶助事業	人とからしのサポートセンター
災害被災者見舞金交付事業	人とからしのサポートセンター
社会福祉関係団体補助金事務	人とからしのサポートセンター
就労支援対策事業	商工観光労政課
定額減税補足給付金給付事業	人とからしのサポートセンター
在日外国人老齢福祉金支給事務	保険年金課
物価高騰対応くらし応援給付金給付事業	物価高騰対応重点支援室

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8	2.8			
		偏差値	55.6	56.1			
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	54.9	56.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		122						

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	地域福祉
基本方針	福祉の総合的な相談・支援の充実	基本方針に関連するSDGsの目標	
施策番号	7-02-②	施策名	福祉の総合相談窓口の充実

施策の概要
多様で複合的な生活課題を抱える人の相談を受け、相談者に寄り添いながら共に課題を整理し、(福)草津市社会福祉協議会等の関係機関や地域と連携することで、それぞれが世代や分野を超えて「丸ごと」つながる総合的な相談・支援を行います。

成果指標(単位)	「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	20.7	21.4	22.1	22.8
実績値	20	20.5			

成果指標実績に対するコメント
市民意識調査の結果、「福祉の総合的な相談・支援の充実」に満足している市民の割合は、目標値を若干下回ったものの、前年度に比べ0.5ポイント増加した。多様かつ複合的な生活課題を抱える人へ寄り添いながら相談・支援を行い、各種制度や関係機関等につなげることで課題解決に向けた取組を進めることができたことが要因の一つと考えられる。

施策の達成度評価
多様で複合的な生活課題を抱える相談者に対し、関係機関等と連携しつつ、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度や就労支援等へのつなぎを行うことで、本人や世帯全体の課題解決に向けた支援を進めることができた。今後も制度周知に取り組み、必要な人に必要な支援が届く体制の充実を図る必要がある。
当施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標において、「No.34 暮らしている地域には、困った時に相談できる人が身近にいる」の偏差値が61.3と最も高く、「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」および「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」の指標においても前年度の偏差値を上回る結果であった。 本市では多様で複合的な生活課題を抱える相談者に対し、関係機関等と連携しつつ、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度や就労支援等へのつなぎを行っており、ウェルビーイング向上の観点からも、上記の指標の水準を踏まえ、引き続き、相談者に寄り添いながら相談・支援を行い、各種制度や関係機関等につなげることで課題解決に向けた支援を継続して実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
多様で複合的な生活課題を抱える人に対し、関係機関等との連携を図りながら、生活困窮者自立支援制度をはじめとする各種制度等を活用し、必要な人に必要な支援が届けられるよう相談・支援の充実に取り組む。
生活困窮者をはじめとした、ひきこもりや生きづらさを感じている人や世帯に対し、就労相談、住まいの相談、家計相談、学習支援・居場所の提供、適切な機関へのつなぎなどを行うことは、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.47 私の暮らしている地域では、学びたいことを学ぶ機会がある」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」といった指標にかかるウェルビーイングの向上に資する取組であると考えている。令和7年度は令和6年度と比較し、4つ中3つの指標で偏差値が高くなっていることから、今後もこれらの指標をさらに高い水準とするために、引き続き生活課題の深刻化を防ぎ自立支援を推進するため、関係機関等と連携した総合的な相談・支援を行っていく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
生活困窮者自立支援事業	人とくらしのサポートセンター	○	多様かつ複合的な生活課題を抱える相談者に対し、福祉の総合相談窓口として相談を受け止め、相談者に寄り添いながら課題整理を行うとともに、生活困窮者自立支援制度による支援や各種制度、関係機関へのつなぎを行い、自立や課題解決に向けた支援を進めることができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】											
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9		2.9						
		偏差値	60.7		61.3						
47	私の暮らしている地域では、学びたいことを学べる機会がある	実数	3.1		3.1						
		偏差値	57.6		55.5						
48	私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8						
		偏差値	55.6		56.1						
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9						
		偏差値	54.9		56.5						

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考	
客観指標No. (令和7年度)			80	115	116	117	122				

8.健康に関する施策

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	市民の健康づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	          
施策番号	8-01-①	施策名	市民の健康づくり支援

施策の概要

市民一人ひとりの健康づくりを促進するため、事業者や地域団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康啓発や生活習慣の改善につながる取組を強化するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援します。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組めます。

成果指標(単位)	健康寿命(年)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	男性81.86	男性82.10	男性82.34	男性82.58
実績値	男性81.62	未確定			
成果指標(単位)	健康寿命(年)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	女性85.88	女性85.89	女性85.91	女性85.92
実績値	女性85.86	未確定			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度における健康寿命は未確定。令和6年度における男性の健康寿命は、令和5年度に比べ0.36年短縮し、女性の健康寿命は、令和5年度に比べ0.86年延伸した。なお、男性の健康寿命が短縮したことについては、85歳以上の死亡者数が令和5年度と比べ増加していること等が一因になっていると考えられる。

施策の達成度評価

「第3次健康くさつ21」や「第3次草津市自殺対策行動計画」に基づき、生活習慣の改善や心身機能の維持・向上に資する各種事業を地域の関係団体等とともに取り組むことができた。特に、令和7年度は様々なイベント開催等を通じて、若者世代・働く世代から高齢者まで幅広い年代に対し、健康づくりの重要性を周知するほか、こころの健康については、相談支援のネットワークづくりを行うことができた。なお、今後についても、「第3次健康くさつ21」や「第3次草津市自殺対策行動計画」に基づき、市民一人ひとりの健康づくりを促進するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援していく必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は、いずれも前年度と比較し偏差値が上昇しており、特に、No.35、No.43、No.44については、偏差値が80と高い。

本市では、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、市民一人ひとりの健康づくりを促進するとともに、地域の主体的な健康づくりの取組を支援していく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでも市民の健康づくり促進の取組を行ってきた中、令和6年度における健康寿命については、令和5年度と比べ、男性は0.36年短縮し、女性は0.86年延伸した。引き続き、市民一人ひとりの健康づくりの推進に向け、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康づくりや生活習慣の改善に向けた取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援していく。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組んでいく。

健康啓発や生活習慣の改善につながる取組や心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりについては、健康寿命を延伸するだけでなく、「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、市民一人ひとりの健康づくりの推進に向け、地域の関係団体等の様々な主体との連携を強化・拡大し、健康づくりや生活習慣の改善に向けた取組を進めるとともに、地域の主体的な取組を支援していく。また、誰もが心身の不調について「気づき」や「見守り」を行える環境づくりや、支援を必要とする方が適切に相談や支援を受けられる体制整備に取り組んでいく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
地域保健活動事業	人とくらしのサポートセンター	○	地区担当保健師が地区診断を通じて学区の健康課題の整理を行うとともに地域住民や団体、企業等と協働した取組を行った結果、地域の主体的な健康づくりの取組を支援することができたため。
健康推進員活動事業	健康増進課	○	市民の健康づくりに関する啓発活動等を、市民自らの活動で、各学区の特性にあわせて行うことができたため。
自殺対策緊急強化事業	健康増進課	○	第3次草津市自殺対策行動計画に基づき、こころの健康づくりの啓発や地域や関係機関、教育機関と連携したゲートキーパー養成研修の開催により、市民が主体的にこころの健康づくりに取り組むことができる環境づくりや、周囲の人のこころの不調に気づき、行動できる地域づくりの推進、連携体制の強化を図ることができたため。
食育推進事業	健康増進課	○	第3次健康くさつ21に基づき、食生活改善に向けた啓発に加え、草津たび丸kitchenでは地場野菜を活用したレシピ、バランスの良い食事、働き世代向けのレシピを毎月掲載するなど、食育についての学びや知識の普及を図ることができたため。
健康啓発推進事業	健康増進課	○	市内の飲食店や運動事業所、文化芸術施設等と連携した「食と運動プロジェクト2025～草津市の文化とともに～」を展開し、野菜摂取の大切さや運動習慣の重要性等について周知啓発を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
健康づくり推進協議会運営事業	健康増進課
健幸都市づくり推進事業	健康福祉政策課
健康管理システム事業	子育て相談センター
健康管理システム事業	人とくらしのサポートセンター
かかりつけ医等普及促進事業	健康増進課
湖南広域行政組合負担金事務	健康増進課
さわやか保健センター施設管理事業	総務課
保健師活動事業	健康増進課
医療関係団体への保健事業事務委託事務	健康増進課
救急医療情報システム運営負担金事務	健康増進課
健康管理システム事業	健康増進課
健康教育事業	健康増進課
健康相談事業	健康増進課
献血推進事業	健康増進課
市民の健康づくり推進事務	健康増進課
精神保健福祉対策事業	健康増進課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
	偏差値	55.2	57.9			
34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9	2.9			
	偏差値	60.7	61.3			
35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4	3.5			
	偏差値	78.3	80.0			
43 私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
	偏差値	79.3	80.0			
44 私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
	偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	80	101	102					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	市民の健康づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	                
施策番号	8-01-②	施策名	疾病予防対策の強化

施策の概要

疾病の予防と早期発見のため、予防接種、各種けん診について、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率向上や早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行います。また、感染症について、正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組めます。

成果指標(単位)	乳がん検診受診率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	12.0	12.4	12.8	13.2
実績値	11.6	11.7			

成果指標実績に対するコメント

草津市乳がん検診受診率については、国が示す対象枠から拡大した無料クーポン券の送付や個別勧奨通知の発送のほか、イベントでの乳がん触診体験の実施等により、受診率向上に向けた取組を行い、前年度より0.1ポイント増加したものの、目標値を達成することはできなかった。なお、乳がん検診の受診間隔は2年度に1度であることから、受診率は前年度と今年度の受診者を合わせ2年連続受診者を除いた受診率を用いて評価している。

施策の達成度評価

予防接種や各種けん診について、予防接種を希望される方が接種を受けられる体制整備や、集団けん診の実施や個別勧奨通知、正しい理解に向けた啓発等に取り組む、疾病予防対策を進めることができた。今後については、引き続き、接種率や受診率の向上、早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族が必要な支援を受けることができる環境づくりを進めていく必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」があり、いずれも偏差値が80となっている。
本市では、予防接種や各種けん診について、地域の医療機関等での接種・受診体制の充実に取り組むとともに、正しい知識の普及と予防の啓発等を行っており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、接種率や受診率の向上、早期対応の勧奨に取り組むとともに、病気になっても患者や家族が必要な支援を受けることができる環境づくりを進めていく必要がある。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

疾病の発症予防と早期発見のため、予防接種や各種けん診については、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率等の向上に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行う必要がある。また、引き続き、感染症にかかる正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組む必要がある。

予防接種や各種がん検診については、疾病の発症予防や早期発見だけでなく、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、予防接種や各種けん診については、体制の充実や啓発方法の工夫による受診率等の向上に取り組むとともに、病気になっても患者や家族等が必要な支援を受けることができる環境づくりを行う必要がある。また、感染症にかかる正しい知識の普及と予防の啓発等に取り組む必要がある。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
予防接種事業	健康増進課	○	予防接種法に基づく定期接種については、個別通知の送付や小中学校を通じた啓発等、対象者(子どもや高齢者)に、必要な周知啓発が行えたため。令和7年度より定期接種となった带状疱疹予防接種について、希望する人が地域の医療機関で接種を受けられる体制を整え、疾病予防を図ることができたため。
健康診査事業	健康増進課	○	がん検診については、ナッジ理論を活用した個別勧奨通知の送付や集団けん診の予約枠の拡大、Web予約や託児支援の実施、イオンシネマでの啓発動画の放映など、受診率向上に向けた各種取組を推進できたため。
歯科保健指導事業	健康増進課	○	節目歯科健康診査の対象者に20歳および30歳を加えるとともに、妊婦歯科健康診査の受診費用を無料にすることで、定期的な歯科健康診査の機会を提供し、生涯を通じた歯の健康づくりや口腔機能の維持・向上の実現を図ることができたため。

■施策評価シート 8-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
感染症予防事業	健康増進課
予防接種事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		101	102					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	8-02-①	施策名	国民健康保険制度の運用	

施策の概要 持続可能な国民健康保険制度の運営を進めるため、国民健康保険財政の健全化、保険料負担と給付の公平化、特定健康診査・特定保健指導の実施等による健康の保持・増進と医療費の適正化を図るとともに、被保険者への啓発活動等、制度への理解促進に努めます。

成果指標(単位)	「医療保険制度の適正運用」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	37.4	39.2	41	42.8
実績値	35.6	34.2			

成果指標実績に対するコメント 市民意識調査における「医療保険制度の適正運用」に「満足」「やや満足」と回答された市民の割合は、令和6年度と比べて減少し、令和7年度の目標値は達成することができなかった。 令和8年度については、引き続き、資格管理や給付等の事務を適切に行い、国民健康保険制度を適正に運営するとともに、特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた事業を継続して行うことで、医療費の適正化を進めていく。
--

施策の達成度評価 資格管理や保険給付等の事務を適正に行い、保険財政の健全運営を保ちつつ被保険者負担の抑制を図るよう国保税率設定を行った。 当該施策に関する「地域幸福度(Well-Being)指標」は、偏差値が高い順に、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.5 暮らしている地域は、医療機関が充実している」であり、いずれも偏差値は70を上回った。 ウェルビーイングの観点からも、引き続き、資格管理や給付等の事務を適切に行い、国民健康保険制度を適正に運営するとともに、特定健診・特定保健指導の実施率向上に向けた事業を継続して行うことで、医療費の適正化を進めていく。
--

評価に基づいた令和9年度の実施についての方針 医療費の適正化や保健事業の積極的な実施により、引き続き、国保財政の健全運営を図る。 また、国民健康保険制度の改正時等には、市民への十分な周知・啓発を行う。 医療費の適正化や保健事業の積極的な実施は、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.5 暮らしている地域は、医療機関が充実している」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、今後も継続して取組を実施していく。
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
特定保健指導事業	健康増進課	○	特定保健指導において、オンライン面談やイベント型での実施など、利用しやすい環境を整えることができたため。また、糖尿病性腎症の重症化予防として、電話や訪問で複数回の勧奨を行い、かかりつけ医と連携した保健指導を行うことができたため。
レセプト管理事業	保険年金課	○	医療費適正化のため、レセプトの管理を適正に行い、また、過誤返戻や本人請求を適切に執行したため。
医療費適正化特別対策事業	保険年金課	○	医療費通知とジェネリック医薬品差額通知の送付を行うことで、医療費の抑制に努めたため。
特定健康診査事業	保険年金課	○	個別健診のほか、被用者保険との連携による集団けん診を12回実施し、受診機会の拡充を図るとともに、文書や電話等による受診勧奨を行うことより、受診率向上に努めた。 また、糖尿病性腎症の重症化予防として、電話や訪問で勧奨を行い、医療機関受診に繋がった実績が向上したため。
人間ドック等助成事業	保険年金課	○	被保険者の健康保持増進を目的とする本事業について、助成制度利用の積極的な周知啓発を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特定健康診査事業	健康増進課
国民健康保険税賦課事務	税務課
国保事業費納付金事業事務(医療給付費分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(後期高齢者支援金等分)	保険年金課
国保事業費納付金事業事務(介護納付金分)	保険年金課
重複頻回受診訪問指導事業	保険年金課
高額介護合算医療事業	保険年金課
高額療養事業	保険年金課
療養事業	保険年金課
療養給付事業	保険年金課
国保運営協議会運営事業	保険年金課
国保連合会負担金拠出事務	保険年金課
国民健康保険給付執行事務	保険年金課
出産育児一時金事務	保険年金課
出産育児一時金支払手数料事務	保険年金課
審査支払手数料事務	保険年金課
葬祭給付事業	保険年金課
傷病手当金事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】												
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度	
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9		4.0							
		偏差値	69.7		73.3							
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5		3.5							
		偏差値	79.7		80.0							

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】										備考		
客観指標No. (令和7年度)			2	4	101	102						

■施策評価シート

8-02-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用	基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	8-02-②	施策名	後期高齢者医療制度の運用

施策の概要

高齢者の誰もが、安心して健やかに暮らすことができる健全で円滑な医療制度の運営を進めるため、運営主体の滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携し、被保険者への制度周知や健康診査等の保健事業による健康の保持・増進と医療費の適正化に努めます。

成果指標(単位)	後期高齢者医療保険料収納率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	99.62	99.62	99.62	99.62
実績値	99.61	99.66			

成果指標実績に対するコメント

後期高齢者医療(現年分)の収納率は、令和6年度に引き続き、高い値であった。

施策の達成度評価

定期的な電話や催告書の送付等による働きかけや、納付相談等を積極的に実施することにより、高い収納率を維持することができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.43 私は、身体的に健康な状態である」であり、偏差値は80となっている。これには後期高齢者医療保険料の収納率を高く維持することで保険財政の安定に繋がり、健康診査事業等を通じ早期に医療へアクセスしやすい状況を提供していることが寄与していると考えられる。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

収納率のさらなる向上を図るため、引き続き取組を進めていく。

当該施策は「No.43 私は、身体的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であり、こうした指標が高い水準だったことを踏まえ、後期高齢者医療保険料の収納率のさらなる向上を図り、保険財政の安定に繋げることで医療へアクセスしやすい状況を引き続き提供できるよう、引き続き収納対策にかかる取組を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
後期高齢者健康診査事業	保険年金課	○	滋賀県後期高齢者医療広域連合より委託を受け対象者に健康診査受診券を送付し、生活習慣病の早期発見を目的とした健康診査事業を進めたため。
後期高齢者医療保険料徴収事務	保険年金課	○	定期的な電話や催告書の送付等による働きかけや、納付相談等の実施により、高い収納率を維持することができたため。

■ 施策評価シート 8-02-②

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
後期高齢者医療事務	保険年金課
広域連合医療費負担金事務	保険年金課
広域連合事務負担金事務	保険年金課
広域連合審査手数料負担金事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.5	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		3	4	101	102				

■施策評価シート

8-02-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	健康
基本方針	医療保険制度の適正運用		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	8-02-③	施策名	福祉医療費の助成	

施策の概要

社会的に弱い立場の方の経済的負担軽減を図るため、障害者等を対象に医療保険適用医療費の自己負担額の一部もしくは全部を助成します。

成果指標(単位)	対象者(障害者(児)、障害老人)1人あたりの年間助成額(千円)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	125	125	125	125
実績値	125	124			

成果指標実績に対するコメント

目標助成額を下回っているものの、助成対象者へ適切な助成を行うことができた。引き続き制度の周知と適切な助成に取り組んでいく。

施策の達成度評価

令和7年度も前年度に引き続き、助成対象者の医療費負担の軽減に寄与した。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.5 暮らしている地域は、医療機関が充実している」であり、偏差値は70を上回る結果となった。こうした結果を踏まえ、指標に関連する事業として、引き続き適切に助成事業を進めていく。

評価に基づいた令和9年度の実施についての考え方

これまでの取組と同様、制度の周知も含め、適切な助成事業実施に取り組む。

福祉医療費助成制度は「No.5 暮らしている地域は、医療機関が充実している」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、引き続き適切に助成事業を進めていく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
障害者福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。
障害老人等福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■ 施策評価シート 8-02-③

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ひとり暮らし寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
ひとり暮らし高齢寡婦福祉医療助成事業	保険年金課
障害者福祉医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療事務	保険年金課
精神障害者精神科通院医療助成事業	保険年金課
精神障害老人精神科通院医療助成事業	保険年金課
老人福祉医療事務	保険年金課
老人福祉医療助成事業	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■ 施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
5	暮らしている地域は、医療機関が充実している	実数	3.9	4.0			
		偏差値	69.7	73.3			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)								

9.こども・子育て・若者 に関する施策

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	安心してこどもを産み育てられる支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	9-01-①	施策名	結婚・妊娠・出産に向けた環境整備	

施策の概要

妊娠届出時からすべての妊婦・子育て家庭に寄り添い、面談等を通じて相談に応じ、各家庭のニーズに応じた必要な支援につなぐとともに、新婚世帯や子育て世帯の負担軽減を図るため、経済的支援を一体的に実施します。また、妊産婦の健康診査に要する費用の助成を実施することで、妊産婦の健康管理の充実および経済的負担の軽減を図ります。

成果指標(単位)	妊娠期から出産後において、助産師や保健師、保育士等からの相談・指導・ケア等を十分に受けることができたかについて、「満足」と回答された方の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	92.3	92.6	92.9	93.2
実績値	92	92.6			

成果指標実績に対するコメント

妊娠・出産・子育てにおける切れ目のない支援を提供するため、様々な悩みや不安に応じ、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を一体的に実施した。また、妊娠期から子育て支援サービスに関する情報を子育て家庭に広く周知するため、ホームページや子育て情報サイトを活用した情報発信にも努めた。これらの取組みにより、成果指標は目標値を上回った。

施策の達成度評価

妊娠から出産、子育て期まで必要な支援につなぐ伴走型相談支援と経済的支援を効果的に組み合わせることで、多様な悩みや不安に対応した切れ目のない支援を実施することができた。今後は、妊婦や子育て家庭にさらに寄り添った伴走型相談支援の充実を図るとともに、必要な子育て情報や子育て支援サービスがより広く対象者に届くよう、周知方法や情報発信の工夫を継続していく必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」であり、偏差値は59.5という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きこれらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

すべての妊婦や子育て家庭が、安心して妊娠・出産・子育てができるよう、多種多様なニーズに応じた伴走型相談支援と経済的支援の充実を図る。また、子育て情報や子育て支援サービス等の取組みが市民に十分に認識されるよう、情報発信の工夫を行い広く周知に努める。

結婚・妊娠・出産に向けた環境整備については、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」という指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えており、ライフステージが変化する節目における支援を実施していく。

■施策評価シート 9-01-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
総合相談事業(衛生費)	子育て相談センター	○	母子健康手帳交付時や随時の相談を実施し、情報提供や不安の軽減を図り、また、継続支援が必要な場合は、関係機関と情報共有や連携を図り、必要な支援につなげることができ、期待どおりの成果を得ることができたため。
妊婦健診事業	子育て相談センター	○	安心して出産を迎えるため、妊婦健診や1か月児健康診査にかかる費用負担を軽減するため、公費負担助成を実施し、期待どおりの成果を得ることができたため。
妊娠・出産包括支援事業	子育て相談センター	○	産前産後サポート事業や産婦健診など産後の母児の相談支援に加え、令和7年度から産後ケア事業の「通所サービス」を新たに導入し、支援を充実させ、期待どおりの成果を得ることができたため。
妊婦等包括相談支援事業	子育て相談センター	○	妊娠届出時より、妊婦や特に0～2歳の低年齢期の子育て家庭に寄り添い、必要な支援につなぐ伴走型相談支援と妊婦のための支援給付を効果的に組み合わせることで、妊婦等の身体的、精神的ケア及び経済的支援を実施し、期待どおりの成果を得ることができたため。
結婚新生活支援事業	こども若者政策課	○	新生活にかかる住居費等の支援を実施したことにより、新婚世帯の負担軽減とともに、安心して結婚できる環境づくりおよび定住促進を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
不妊・不育治療費助成事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		26	82					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	安心してこどもを産み育てられる支援の充実		基本方針に関連するSDGsの目標	   
施策番号	9-01-②	施策名	こどもの発育・発達に向けた子育て支援	

施策の概要

すべてのこどもが健やかに育つよう、病気等の予防・早期発見・早期対応に努めます。また、子育て家庭の負担軽減のための家事・育児を支援するヘルパー派遣やこどもの成長や発達に関して、養育者等が正しい知識を持ち、こどもと共に育つことで、不安や悩みを軽減し育児できるよう切れ目のない子育て支援の充実を図ります。

成果指標(単位)	出産後にすこやか訪問を利用した人数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		1,050	1,040	1,049	1,056
実績値	1,112	994			

成果指標実績に対するコメント

乳幼児健診や専門職による訪問などにより、こどもの発育や発達、病気等の早期発見・早期対応をすることで、養育者への正しい知識や情報を提供し、不安軽減や育児支援に繋がれるよう努めたが、すこやか訪問の対象者が目標値を下回ったことから、実績値も下回った。

施策の達成度評価

こどもの成長や発達について、養育者が正しく知識を持ち、理解を深めることで、乳幼児健診や専門職による訪問時の早期発見から関係機関への適切な支援につなげ、養育者等の不安や悩みを軽減でき、引き続き切れ目のない支援を充実させる。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」であり、偏差値は59.5という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きすべてのこどもが健やかに育つよう、これらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

養育者がこどもに適切な関わりができるよう相談支援や情報提供を行うことで、成長・発達について正しい知識を持ち、不安や悩みを軽減できる取組に努める。

こどもの発育・発達に向けた子育て支援については、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」という指標にかかるウェルビーイング向上にも資すると考えており、ライフステージが変化する節目における支援を実施していく。

■施策評価シート

9-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
総合相談事業(民生費)	子育て相談センター	○	出産から育児、子育てに関して切れ目のない子育て支援(草津市版ネウボウ)を行うため、相談支援や子育てサービスの情報提供を実施し、不安の軽減を図るとともに、相談等を通じて必要な子育て支援サービスにつなげ、期待どおりの成果を得ることができたため。
乳幼児健診事業	子育て相談センター	○	こどもの健全な育成・健康増進を図るとともに、障害の早期発見・早期療育を推進し、福祉・教育につながる最初の役割を担い、不適切な養育を早期発見し、早期に子育ての支援が必要な乳幼児を把握でき、期待どおりの成果を得ることができたため。
新生児訪問事業(すこやか訪問事業(1回目))	子育て相談センター	○	概ね生後4か月未満の乳児のいる家庭を訪問し、養育者の心身の状況および養育の状況を把握し、育児等に係る相談支援を行い、育児不安の解消を行うとともに、虐待予防の観点から養育支援が必要なケースを早期に発見し、関係機関と連絡調整を図り、期待どおりの成果を得ることができたため。
育児等支援家庭訪問事業(すこやか訪問事業(2回目))	子育て相談センター	○	育児に関する相談・子育てサービスの情報提供を実施し、不安の軽減を図るため、生後6か月から1歳未満のこどもがいるご家庭に、保育士が訪問し、育児相談や子育ての情報提供などを行い、育児支援の必要なケースを早期に把握し、適切な子育て支援サービスにつなげ、期待どおりの成果を得ることができたため。
草津っ子サポート事業	こども家庭若者課	○	生後1歳未満の子を持つ子育て世帯の希望者に対し、家事・育児を担うヘルパー派遣を行い、子育て支援を行うことができ、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
未熟児養育医療事業	子育て相談センター
母子健康教室開催事業	子育て相談センター
養育支援訪問事業	子育て相談センター
多胎児養育支援ヘルパー派遣事業	こども家庭若者課
児童福祉援護事務	こども家庭若者課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
	偏差値	59.5	59.5			
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】						
客観指標No. (令和7年度)	26					

備考

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-02-①	施策名	就学前教育・保育の量の確保と質の向上	

施策の概要

児童数や教育・保育ニーズの変化に対応するため、安全・安心な保育環境や施設定員の確保と併せて、教育・保育を担う質の高い人材の安定的な確保・育成に取り組めます。また、こどもの豊かな育ちや学びを支えるため、長期的な視点に立ち、学校教育への円滑な接続を図りながら、教育・保育内容の充実に努めます。

成果指標(単位)	「就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	21.8	22.1	22.4	22.7
実績値	21.5	22.6			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実満足している市民の割合は、前年度より1.1ポイント増加し、目標値を達成することができた。待機児童が発生したものの、小規模保育施設の整備支援により、保育の受け皿を拡充したことや、子育て支援施策として、第3子以降の保育料無償化や保育施設等へ紙おむつを無償配布等を行っていることなどに対する市民の評価が表れたものと考えられる。

施策の達成度評価

安全・安心な保育環境に向けて、保育所・認定こども園等の運営支援や、公立施設における適正な維持管理等を行うとともに、待機児童解消に向けた小規模保育施設施設の整備を支援し、施設定員増を行った。
また、奨学金返還支援や定着応援支援補助の実施、ダイレクトメールやSNSを活用した広報周知強化により、市内保育施設の人材確保および定着を推進するとともに、質の高い就学前教育・保育の提供に向けて、保育士等を対象とした各種研修を実施し、人材育成を図った。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標のなかで、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」は、偏差値が60を上回る結果であった。こうした偏差値が高い水準であったことを継続できるよう、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、保育の受け皿と保育士確保と合わせ、質の高い就学前教育・保育を提供するための人材育成等を行っていききたい。

評価に基づいた令和9年度取組についての考え方

保育所・認定こども園等の運営支援や、公立施設における適正な維持管理等を引き続き行うとともに、就学前児童数や保育需要の動向を見極めながら、待機児童の解消に向けた施設定員と保育士の確保、また質の高い就学前教育・保育を提供するための人材確保、必要な保護者負担軽減に取り組む。

就学前教育・保育の量の確保と質の向上の取組は、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、引き続き、就学前教育・保育施設における運営支援、維持管理、施設定員と保育士の確保や人材育成、保護者負担の軽減を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
施設等利用給付事業(民生費)	幼児課	○	認可外保育施設や私立幼稚園等における幼児教育・保育の無償化対象者への子ども・子育て支援法に基づく利用給付を円滑に行い、子育て世帯の経済的負担の軽減を図ることができたため。
施設等利用給付事業(教育費)	幼児課	○	
保育所・認定こども園運営支援事業	幼児課	○	公立保育所・認定こども園において、必要な保育士等の配置を行うことにより、保育体制の確保を行うことができたため。
認定こども園運営支援事業	幼児課	○	
保育所・認定こども園指導研修事業	幼児課	○	初任者や若年層職員を対象とした研修や、中堅職員等に対するキャリアアップ研修等を行い、職員のスキルや知識の向上を促進できたため。
認定こども園指導研修事業	幼児課	○	
保育士等確保対策事業(民生費)	幼児課	○	学生や潜在保育士等に対し、ダイレクトメールやSNS広告配信等を活用し、本市の保育士支援制度や保育施設の情報を発信することにより、保育士の安定的確保につなげることができたため。
保育士等確保対策事業(教育費)	幼児課	○	
家庭的保育事業	幼児課	○	家庭的保育施設に対して、給付費の支弁に併せて、保育体制の強化に対する支援や食材料費高騰対策への支援を行うことにより、低年齢児の保育環境の充実を図ることができたため。
家庭的保育事業	幼児施設課	○	
小規模保育事業	幼児課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、小規模保育施設に対して、給付費の支弁に併せて、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、低年齢児の保育環境の充実を図ることができたため。
小規模保育事業	幼児施設課	○	
民間保育所委託費支給事業	幼児施設課	○	私立認可保育所に対して、子ども・子育て支援法に基づき、給付費を支弁することにより、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。

■施策評価シート

9-02-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
民間保育所運営補助事業	幼児施設課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、私立認可保育所に対して、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
民間認定こども園施設型給付費支給事業(民生費)	幼児施設課	○	私立幼保連携型認定こども園などに対して、給付費を支弁することにより、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
民間認定こども園運営補助事業	幼児施設課	○	保育ニーズを満たすためには、定員確保とともに人材確保も重要であることから、私立幼保連携型認定こども園などに対して、良質な教育・保育を提供するため国基準より充実した保育士等の配置や保育士確保、食材料費高騰対策への支援を行うことで、入所児童の保育環境の充実を図ることができたため。
保育所・認定こども園管理運営事業(民生費)	幼児施設課	○	公立保育所および公立幼保連携型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。
認定こども園管理運営事業(教育費)	幼児施設課	○	公立幼稚園型認定こども園の運営や維持管理を適切に行うことにより、良質な教育・保育環境を提供することができたため。
民間幼稚園・認定こども園運営事業(教育費)	幼児施設課	○	私立幼稚園や幼稚園型認定こども園に対して、食材料費高騰対策への支援等を行うことで、入所児童の教育・保育環境の充実を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
保育所・認定こども園管理運営事業	こども若者政策課
認定こども園運営支援事業(教育費)	幼児施設課
保育所・認定こども園運営支援事業(民生費)	幼児施設課
家庭支援活動事業	幼児課
私立幼稚園運営推進事業	幼児課
認定こども園運営補助事業(幼児課)	幼児課
認定こども園管理運営事業	幼児課
認定こども園給食事業	幼児課
認定こども園保健推進事業	幼児課
保育所・認定こども園管理運営事業	幼児課
保育所・認定こども園給食事業	幼児課
保育所・認定こども園健康管理事業	幼児課
保育所運営補助事業(幼児課)	幼児課
預かり保育事業	幼児課
幼稚園・認定こども園運営事業(幼児課)	幼児課
利用者負担額管理回収事業	幼児課
他自治体広域入所事業(教育費)	幼児施設課
他自治体広域入所事業(民生費)	幼児施設課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4		
		偏差値	58.0	63.0		
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2		
		偏差値	59.5	59.5		
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5		
		偏差値	64.6	66.5		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2		
		偏差値	55.2	57.9		

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)	6	21	22	23	24				

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	就学前から学童期までの子育て環境のさらなる充実		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	9-02-②	施策名	多様なニーズに対応する保育サービスの充実	

施策の概要
こどもが安全で安心でき、健やかに育まれる放課後の活動場所として、児童育成クラブの充実と施設の整備を図ります。また、病気や病気回復期で、保護者の就労等により家庭保育が困難な場合に、病児保育室での保育を行います。

成果指標(単位)	児童育成クラブ入会率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		100	100	100	100
実績値	99.6	99.7			

成果指標実績に対するコメント
令和7年度の児童育成クラブ入会率は、前年度より0.1%増加したものの、目標値を達成することはできなかった。新たに民設民営の児童育成クラブを整備したものの、一部の小学校区で受入可能人数を上回る入会申し込みがあり、継続して利用ニーズが増加していることが要因である。

施策の達成度評価
民設児童育成クラブの開設による定員増や、各児童育成クラブにおける受け入れにかかる弾力運用を行い、前年度比で106人増の受け入れを行ったが、一部の小学校区で受入可能人数を上回る入会希望があったため、待機児童が発生した。 病児保育室については、新たに1施設を開設したことで受け入れ体制を強化し、より安心して働き続けられる環境を整えた。 当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」があり、いずれも偏差値が55を上回る結果であった。 本市は、家庭の就労支援として、児童育成クラブや病児保育室の取組を進めており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、児童育成クラブや病児保育室がより効果的な取組となるよう引き続き取り組む。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組により、児童育成クラブについては、民設児童育成クラブの開設による定員増に努めてきた。市域全体の小学生人口はピークを迎える見込みであるが、開発等による影響や多様化する保育ニーズにより、今後も児童育成クラブへの入会希望者数が増加する可能性があるため、引き続き保育ニーズを注視しながら、待機児童の解消に向けた取組を行っていく。 また、病児保育室については、就労と子育ての両立に向け、これまでの環境を安定的に維持していく。 児童育成クラブ・病児保育室の取組は、子育て世帯への就労支援だけでなく、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取り組みであると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも子育て環境の整備の取組をはじめ、多様な保育ニーズに応える事業を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童育成クラブ運営事業	こども若者政策課	○	待機児童の解消に向けた取組を実施するとともに、支援員等への研修を行うことにより、安全・安心なクラブ運営が図れたため。
病児・病後児保育運営事業	こども若者政策課	○	安全・安心な病児・病後児保育の運営体制を確保できたため。

■施策評価シート 9-02-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2				
		偏差値	59.5	59.5				
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5				
		偏差値	64.6	66.5				
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2				
		偏差値	55.2	57.9				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								
客観指標No. (令和7年度)								備考

■施策評価シート

9-03-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	    
施策番号	9-03-①	施策名	子育て支援ネットワークの推進	

施策の概要

JR 草津駅前と南草津駅前の子育て支援拠点施設を中心とした子育て支援施設を通じて、子育て支援に関する様々な情報や、交流の場を提供するとともに、関係団体等のネットワークをさらに強化し、関係機関との連携を深めます。

成果指標(単位)	子育て支援拠点施設を利用された人数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		116,333	112,522	109,052	108,651
実績値	117,041	118,116			

成果指標実績に対するコメント

こどもと子育て中の親子の交流の場の提供、子育てに関する相談や情報発信を行うため、子育て支援拠点施設の適正な運営を行い、地域の身近な場所で、親子の交流や育児相談等を通じて、子育ての不安を軽減するとともに、こどもの健やかな育ちを促進したことで、目標値を上回ることができた。

施策の達成度評価

市内に7か所の子育て支援施設を設置し、地域の身近な場所で気軽に育児相談等ができ、関係機関への必要な支援に繋がりました。引き続き、子育て世帯の必要な支援に繋がれるよう関係機関との連携を強化したい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」であり、偏差値は両方とも50後半という結果であった。本市では、偏差値が比較的高水準であることから、引き続きこれらの支援を継続する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの取組により、子育て支援施設の利用者数は増加傾向であり、さらに利用しやすくなる取り組みとして、子育て関連イベントの充実や積極的な周知に努めていきたい。

子育て支援ネットワークを推進し、関係機関の連携が強化されることで、「No.14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上に資すると考えており、子育て世帯の必要な支援に繋がれるよう関係機関との子育て支援ネットワークを強化したい。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童館運営事業	子育て相談センター	○	児童健全育成の推進を図るため、児童館活動を実施する社会福祉法人への補助を行い、子育てに関する相談や親子の交流の場を提供するための広場を運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
つどいの広場事業	子育て相談センター	○	おおむね3歳未満の子育て家庭が気軽に集い、こどもの育ちや思いを語り合い、交流するための広場を運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
子育て支援センター運営事業	子育て相談センター	○	子育てに関する相談や親子の交流、学習の場を提供するとともに、公的なサービスや民間活動の情報を集約し、子育て情報サイト等を通して発信し、子育ての不安や悩みを抱える家庭の解消に向け事業を推進した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。
子育て支援拠点施設運営事業	子育て相談センター	○	こどもと保護者が交流することのできる場の提供、子育てに関する相談機能、子育てに関する情報発信機能を備えた子育ての中核拠点となる施設、子育て支援拠点施設を適正に運営した結果、期待どおりの成果を得ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て支援事業	子育て相談センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		26						

■ 施策評価シート 9-03-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者や親子がいきいき過ごせる場づくり		基本方針に関連するSDGsの目標	    
施策番号	9-03-②	施策名	こども・若者が安心できる場づくり	

施策の概要
社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者に対して、個性や能力に合わせた居場所を提供し、自己肯定感や自己有用感を高め、社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう支援します。また、地域や団体と連携し、地域行事や体験活動、社会活動への参加を通じて、地域におけるこども・若者の居場所の充実を図ります。

成果指標(単位)	草津市子ども・若者の居場所に参加して、期間当初から環境に変化が見られた者の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	60	60	60	60
実績値	60	75			

成果指標実績に対するコメント
居場所に参加したこども・若者における効果測定の結果、期間当初から環境に変化が見られた割合は前年度より15ポイント増加し、令和7年度の目標値を上回った。これは、居場所スタッフやこども・若者相談員が、本人の個性や能力をみながら、思いを表出できて安心できる場づくりを行ったことにより変化が表れたものとする。

施策の達成度評価
こども・若者の居場所事業を推進した結果、様々な悩みを抱えているこども・若者の社会参加や自立に向けたステップを歩むことができ、一定の効果がみられた。引き続き、社会活動への参加等を通じて効果的な居場所事業となるよう進めていく。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」があり、偏差値が60を上回る結果であった。引き続き、ウェルビーイングの観点からも、社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者が社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供できるよう相談・支援を行いたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
これまでの取組により、居場所に参加したこども・若者は、目標値以上に参加者の環境に変化が見られた一方で、参加者の固定化など課題はあることから、令和9年度は引き続き、参加しているこども・若者に対して、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供するための相談・支援を行うとともに、支援を必要とする人には新たに一步踏み出して居場所に参加できるよう相談・支援を進めていく。
様々な悩みを抱えているこども・若者に合った居場所を提供する取組は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、関係機関等との連携を深め、参加者の個性や能力に合わせた柔軟な居場所が提供できるよう相談・支援を行っていく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
こども・若者支援事業	こども家庭若者課	○	社会生活を送るうえで様々な悩みを抱えているこども・若者が社会参加や自立に向けたステップを歩めるよう、関係機関等との連携を深め、個性や能力に合わせた柔軟な居場所を提供し、相談・支援を行うことができたため。

■ 施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
15	私の暮らしている地域では、子ども たちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

■施策評価シート

9-04-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	       
施策番号	9-04-①	施策名	こども・若者の健全育成の推進

施策の概要

こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができる環境を作るため、地域・学校・関係機関が連携し、こども・若者の健全育成を進めます。
また、相談業務や支援プログラムを実施し、非行からの立ち直りを支援します。

成果指標(単位)	草津市青少年育成大会の内容について「とてもよかった」「よかった」と回答した市民の割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	85	86	87	88
実績値	82.8	81.2			

成果指標実績に対するコメント

青少年育成大会の参加者へのアンケートの結果、草津市青少年育成大会の内容について「とてもよかった」「よかった」と回答した市民の割合は、前年度に比べて1.6ポイント減少し、目標値の達成には至らなかったが、参加者からは「こどもたちの逞しさと思い強さを感じた」「社会に出るための経験の必要さを感じた」等の意見があり、青少年への理解や関心を示されていたものとする。

施策の達成度評価

青少年の育成活動事業などの各種事業を推進した結果、地域・学校・関係機関との連携や草津市青少年育成市民会議の活動については、青少年の健全育成に関する意識・関心につなげることができ、一定の効果が見られた。また、少年センターにおける相談業務や支援プログラムについては、就労や進学につなげるなど非行等からの立ち直りへの一助となった。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」は偏差値が65を上回り、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」は、偏差値が55を上回る結果であった。
ウェルビーイングの観点からも、こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、引き続き、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き青少年の健全育成のため、地域・学校・関係機関が連携を深め、こども・若者が自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができる環境づくりを草津市青少年育成市民会議の活動を通して行う。また、立ち直り支援については、一人ひとりに寄り添った支援ができるよう、相談や支援プログラム等を行っていく。

こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う取組は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、こども・若者が、自分らしく自らの希望に応じてその意欲と能力を生かすことができるよう、引き続き、関係機関等との連携を深め、一人ひとりに寄り添った環境づくりや相談・支援を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
こども・若者育成支援推進事業	こども家庭若者課	○	様々な悩みを抱えるこども・若者に対して、相談窓口での丁寧な相談支援を行うことができた。またこども若者支援協議会や研修会の開催により関係機関との連携強化を図ることができたため。
少年センター管理運営事業	こども家庭若者課	○	草津市青少年市民会議と共同して、育成大会の開催や、挨拶(あいさつ)運動の推進など青少年の健全育成を推進できたため。
青少年育成活動事業	こども家庭若者課	○	相談や支援プログラムの実施と併せ、少年補導委員や警察、学校等と協力しながら街頭補導活動を通じて、非行防止と立ち直り支援を図ることができたため。

■施策評価シート 9-04-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
こども・若者会議運営事業	こども若者政策課
青年国際交流事業	生涯学習課
20歳のつどい開催事業	生涯学習課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5			
		偏差値	64.6	66.5			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

■施策評価シート

9-04-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	        
施策番号	9-04-②	施策名	児童虐待の防止と早期発見・早期対応

施策の概要 児童虐待の防止、早期発見・早期対応に努めるとともに、こどもとその家族の安心できる生活のための支援として、必要な相談体制の充実や関係機関等との連携を進めます。
--

成果指標(単位)	児童虐待による死亡事例の発生件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	0	0	0	0
実績値	0	0			

成果指標実績に対するコメント 令和7年度の児童虐待による死亡事例の発生件数は0件であり、目標値を達成することができた。児童虐待の防止、早期発見・早期対応の推進によるものとする。
--

施策の達成度評価 相談窓口の周知や関係機関連携を図るとともに、オレンジリボンの啓発や関係機関向けの研修を実施したことにより、児童虐待防止の効果がみられた。引き続き、児童虐待の防止に向け、早期発見と迅速かつ適切な支援を行うため、各関係機関と連携し、対策・支援策を講じる必要がある。 当該施策に関する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」であり、偏差値が60を上回る結果であった。高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、児童虐待の防止に向け、早期発見と迅速かつ適切な支援を行うため、各関係機関と連携し、対策・支援策を講じる必要がある。
--

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方 これまでの取組により、児童虐待の防止の効果がみられたことから、引き続き、様々な相談に応じ、関係機関と連携し、児童虐待の防止、早期発見・早期対応に取り組む。 児童虐待防止の取組は、「No.15 私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる」の指標にかかるウェルビーイング向上に資する取組であると考えており、指標が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、引き続き、様々な相談に応じ、関係機関と連携し、児童虐待の防止、早期発見・早期対応に取り組む。
--

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
養育支援ヘルパー派遣事業	家庭児童相談室	○	支援が必要な家庭にヘルパー派遣を行い、子育ての負担軽減を図った結果、良好な育児環境を整えることができたため。
家庭児童相談指導事業	家庭児童相談室	○	児童虐待防止担当者向けの外部研修への参加や、内部研修を実施した結果、相談支援体制を強化することができたため。

■施策評価シート 9-04-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
子育て短期支援事業	家庭児童相談室

成果達成度の表示について

◎ 期待を超える成果があった
○ 期待どおりの成果があった
△ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】								
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	
15	私の暮らしている地域では、子どもたちがいきいきと暮らせる	実数	3.4	3.5				
		偏差値	64.6	66.5				
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】							備考	
客観指標No. (令和7年度)								

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	        
施策番号	9-04-③	施策名	ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援の充実

施策の概要

ひとり親家庭等の自立と生活の安定のため、相談体制や経済的支援、日常生活の支援等の充実を図ります。また、こどもが生まれ育った環境に左右されことなく、将来の夢や目標の実現に向かっていけるよう、必要な支援を行います。

成果指標(単位)	高等職業訓練促進給付制度利用により資格取得後、就労に結びついた割合(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	100	100	100	100
実績値	100	100			

成果指標実績に対するコメント

令和7年度の高等職業訓練促進給付制度利用により資格取得後、就労に結びついた割合は100%であり、取得した資格を十分に活かし、就労につながったものとする。

施策の達成度評価

相談に応じながら、ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への日常生活の支援や経済的支援、就職に有利な技能の習得や資格取得等のための各種給付金を活用いただいた結果、ひとり親家庭等の自立と安定を図ることができた。引き続き、ひとり親家庭等への相談支援や経済的支援、日常生活の支援等の充実を行いたい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標、「No.14 私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の、偏差値は59.5であり、60に近い結果であった。
これは、必要な方へ必要な施策が届いていると考えられるが、さらなる向上を目指し、引き続き、必要な方へ必要な支援が届くように各事業を推進する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

これまでの取組により、ひとり親家庭や経済的困窮家庭等への支援については相談体制の充実や経済的支援、日常生活の支援等において一定支援することができているが、さらにその取り組みを進めていくためには、支援制度の情報発信を積極的に行い、ひとり親家庭等の相談対応や、関係機関と連携を実施していく。

ひとり親家庭や生活困窮家庭等への支援の取組については、「No.14 私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の向上に資する取り組みであると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、今後においても必要な支援が必要な方へ届くよう、制度の周知や相談支援を行う。

■施策評価シート

9-04-③

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童扶養手当給付事業	こども家庭若者課	○	受給資格を確認のうえ、適切に給付を行ったため。
母子生活支援施設入所事業	こども家庭若者課	○	DV等の理由により母子の保護を行い自立に向けた支援を行うことができたため。
ひとり親家庭等支援事業	こども家庭若者課	○	母子・父子自立支援員を3名配置し、ひとり親家庭の相談対応や、各種支援制度の利用を勧め、ひとり親家庭の生活の安定を図ることができたため。
ひとり親家庭等就業支援事業	こども家庭若者課	○	ひとり親家庭の自立のため、就労に有利な技能の習得および資格取得等の支援を行うことができたため。
母子家庭福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
助産施設入所事業	こども家庭若者課
母子等福祉活動費補助金事業	こども家庭若者課
母子福祉資金等貸付事業	こども家庭若者課
父子家庭福祉医療助成事業	保険年金課
母子家庭等福祉医療事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14 私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
	偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)									

■施策評価シート

9-04-④

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	       
施策番号	9-04-④	施策名	発達障害児等への支援の充実

施策の概要

ライフステージを通して、医療、保育、教育、福祉、就労等の多様な関係機関と連携しながら、切れ目のない相談支援を進めます。また、発達に支援が必要なこどもに対して、早期に療育につなげるとともに、地域の教育・保育施設や児童発達支援事業所等が支援の充実を図ることができるよう児童発達支援センターの機能強化を推進します。

成果指標(単位)	相談支援延べ人数(人)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	3,992	4,032	4,073	4,113
実績値	3,914	4,008			

成果指標実績に対するコメント

発達に支援が必要な方への相談件数は前年度に比べ94人増加し、目標値を達成することができた。発達に支援が必要な方に対する相談支援のニーズは増加しており、発達支援センターに専門職を配置したことで、医療、保育、教育、福祉、就労等の多様な相談支援のニーズに対応できたものとする。

施策の達成度評価

発達支援センターが、地域の障害児支援の中核的役割を担う児童発達支援センターとして、早期療育や親子体験教室を実施し、早期からの発達支援に取り組んだ。また、乳幼児期から成人期にかけて相談支援を実施するとともにグループ保育やペアレント・トレーニングを行い地域支援や家族支援の充実を図ることができた。

令和6年度から令和7年度にかけて、最も偏差値が上昇した当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」であり、上昇幅は5.0ポイントであった。
令和7年度は、切れ目のない相談支援などの「児童発達支援センターの機能強化」の施策を推進してきており、こうした上昇傾向を踏まえ、ウェルビーイングの観点からも引き続き支援の充実を図っていきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

早期療育の充実や多様な相談支援のニーズに関係機関と連携しながら対応するとともに、地域の就学前教育・保育施設、学校、障害児通所支援事業所等の関係機関への支援に取り組む。

切れ目のない相談支援などの取組は、児童発達支援センターの機能強化を図るだけでなく「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、こうした上昇傾向を踏まえ、引き続き、ウェルビーイングの観点からも、切れ目のない相談支援をはじめ、発達に支援が必要なこどもに対して早期に療育につなげるための取組を実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
発達支援センター運営事業	発達支援センター	○	多様な相談支援のニーズに対応するとともに、グループ保育やペアレント・トレーニングを実施し、地域支援や家族支援に取り組むことができたため。
湖の子園運営事業	発達支援センター	○	親子体験教室を実施し、早期からの療育につなげるとともに、地域の保育所等に在籍する加配対象児の保護者の交流会を実施し、保護者支援に取り組むことができたため。

■施策評価シート 9-04-④

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
障害児通所給付事業	発達支援センター
障害児支援事業	発達支援センター

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		6						

■施策評価シート

9-04-⑤

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	こども・子育て・若者
基本方針	こども・若者を支える環境づくり	基本方針に関連するSDGsの目標	       
施策番号	9-04-⑤	施策名	子育てに伴う経済的負担の軽減

施策の概要

子育て家庭の経済的負担の軽減を図るため、児童手当の支給や乳幼児、小中学生・高校生等の医療費助成等を行います。

成果指標(単位)	「こども・若者を支える環境づくり」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		21.8	22.1	22.4	22.7
実績値	21.5	20.0			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、こども・若者を支える環境づくりに満足している市民の割合は、前年度と比べ1.5ポイント低くなり、目標値を達成することはできなかったものの、子育てに伴う経済的負担の軽減については一定図れていると考える。

施策の達成度評価

子育て家庭への児童手当の支給や、乳幼児・小中学生・高校生等の医療費助成等を適切に行い、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ることができた。引き続き、子育てに伴う経済的負担の軽減に向け施策の推進を図っていく。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標、「No.14 私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の、偏差値は59.5であり、60に近い結果であった。
これは、必要な方へ必要な施策が届いていると考えられるが、さらなる向上を目指し、引き続き、必要な方へ必要な支援が届くように各事業を推進する。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

子育て家庭への経済的負担軽減のため、引き続き適切な助成や手当の給付を進める。

子育て家庭への経済的負担軽減については、「No.14 私たちの暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い」の向上に資する取り組みであると考えており、この指標が高い水準であったことを踏まえ、今後においても必要な支援が必要な方へ届くように、制度の周知や相談支援を行う。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
児童手当給付事業	こども家庭若者課	○	受給資格・対象を確認のうえ、適切に給付を行ったため。
乳幼児福祉医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。
小中学生・高校生等医療助成事業	保険年金課	○	助成要件を確認のうえ、適切に助成を行ったため。

■施策評価シート 9-04-⑤

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
特別児童扶養手当給付事務	こども家庭若者課
児童手当給付事務	こども家庭若者課
小中学生・高校生等医療事務	保険年金課
乳幼児福祉医療事務	保険年金課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
14	私の暮らしている地域では、子育て支援・補助が手厚い	実数	3.2	3.2			
		偏差値	59.5	59.5			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		26						

10.長寿・介護に関する施策

■施策評価シート

10-01-①

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	いきいきとした高齢社会の実現		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-01-①	施策名	高齢者の生きがいがづくり・社会参加の促進	

施策の概要

生きがいがづくりや健康の保持増進のため、就労やボランティア活動等への社会参加による交流の促進、活躍の場づくりの充実等に努めます。

成果指標(単位)	シルバー人材センター会員数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		721	731	741	751
実績値	711	722			

成果指標実績に対するコメント

健康講座や人権研修等と仕事説明会を同時開催し、草津市シルバー人材センターの普及啓発を図るとともに、サークル活動もPRすることで、草津市シルバー人材センターの魅力を発信することができ、会員数の増加(前年度比1.5%増)に繋げることができた。

施策の達成度評価

長寿の郷ロクハ荘やなごみの郷といった多世代交流機能・健康増進機能・介護予防機能を兼ね備えた施設を運営し、スポーツや文化的事業など、様々な方が参加・活躍できるような事業を計画・実施するとともに、シルバー人材センターや老人クラブの取組を支援することにより、高齢者の社会参加や生きがいがづくりや健康の保持増進を図ることができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.43私は、身体的に健康な状態である」「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.48 私の暮らしている地域では、やりたい仕事を見つけやすい」「No.49 私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある」があり、いずれも偏差値が50を上回る結果であった。就労やボランティア活動等を通じた社会参加の促進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

高齢者の生きがいがづくりや健康の保持増進を推進するために、引き続き、積極的な社会参加による交流の促進を目的とした施設運営や関係機関への支援に努める。

就労やボランティア活動等を通じた社会参加等の取組は、生きがいがづくりや健康の保持増進だけでなく、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」といった指標ににおいて、高い水準であり、ウェルビーイング向上にも資する取組であると考えことから、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
シルバー人材センター運営・活動事業	商工観光労政課	○	一般市民や企業への多様な周知活動を実施したこと等により、全国的に会員数の減少傾向が続く中で、草津市シルバー人材センターの入会登録者数は、会員は722人(前年度比1.5%増)と増加することができたため。
ロクハ荘管理運営事業	長寿いきがい課	○	指定管理者と協議のうえ、eスポーツなど新たな取組により、フレイル予防や高齢者の生きがいがづくり、仲間づくりの展開を図り、さらに、多世代交流を目的としたイベントを積極的に企画し、多彩な事業の実施や他団体との連携事業の実施を通じ、利用者の満足度の向上に努めたため。
なごみの郷管理運営事業	長寿いきがい課	○	

■施策評価シート 10-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
ねんりんピック出場選手激励金支給事業	長寿いきがい課
老人福祉法施行事務	長寿いきがい課
老人クラブ活動補助事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】													
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度		令和10年度		
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1		3.2								
		偏差値	55.2		57.9								
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5		3.5								
		偏差値	79.3		80.0								
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6		3.7								
		偏差値	79.7		80.0								
48	私の暮らしている地域では、やりがい仕事を見つけやすい	実数	2.8		2.8								
		偏差値	55.6		56.1								
49	私の暮らしている地域では、適切な収入を得るための機会がある	実数	2.9		2.9								
		偏差値	54.9		56.5								
関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】												備考	
客観指標No. (令和7年度)			101	102	118								

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	いきいきとした高齢社会の実現		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-01-②	施策名	高齢者の健康づくり・介護予防の推進	

施策の概要

要支援・要介護状態になることを予防し、日常生活の活動を高めることで、生きがいのある生活を送ることができるよう、介護予防の知識普及や地域での介護予防事業の展開等に努めます。

成果指標(単位)	地域サロン年間延べ参加者数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		67,000	70,000	73,000	76,000
実績値	64,000	69,464			

成果指標実績に対するコメント

地域サロンについて、草津市社会福祉協議会が主体となって、企画運営相談や立ち上げ相談の対応を行うことで、地域サロンの活動が促進され、令和7年度の地域サロン年間延べ参加者数が目標値を上回った。

施策の達成度評価

高齢者が主体的に介護予防に取り組むためのきっかけづくりを目的として、市立プールを活用した介護予防事業やまちづくりセンター等におけるスポーツ介護予防事業を実施し、また、地域における自主的な介護予防の取組を継続して支援したことで、介護予防につなげることができた。地域サロンにおいては、草津市社会福祉協議会と連携して活性化を図り、地域での介護予防事業の展開に努めることができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」があり、いずれも偏差値が約80という結果であった。高齢者の生きがいつくりや地域での自主的な介護予防活動の推進により、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、地域で住民が自主的に介護予防に取り組むことができるよう、多彩な介護予防事業を展開するとともに、草津市社会福祉協議会と連携して地域サロンの活動を支援することにより、地域での支え合いや介護予防の普及に努めます。

高齢者が地域で主体的に介護予防に取り組むことは、要支援・要介護になることを予防するだけでなく、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」といった指標において高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、継続して取組を推進していく。

■施策評価シート

10-01-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
介護予防普及啓発事業	長寿いきがい課	○	高齢者をささえるしくみの発行や高齢者を対象としたプール介護予防教室、eスポーツ体験教室・地域出前講座・eスポーツルームの開設といった事業の拡大を行ったことで、地域において新たに介護予防活動を始めるきっかけづくりを進めることができたため。
地域介護予防活動支援事業	長寿いきがい課	○	いきいき百歳体操や草津歯・口からこんにちば体操において、専門の指導員を地域に派遣することで、介護予防活動を始めるきっかけや既に活動している地域団体の活動継続を図ることができたため。
高齢者フレイル予防事業	長寿いきがい課	○	専門職を派遣する出前講座を通して自らフレイル予防に取り組むきっかけづくりを行い、出前講座の周知方法を見直すことにより、申込数が増加した。このことにより、高齢者がフレイル予防に関する正しい知識を得て、自らフレイル予防に取り組むきっかけとなる機会を増やすことができたため。
地域サロン推進事業	長寿いきがい課	○	地域サロン活動の促進に向けた訪問活動により、活動している地域サロン数が前年度と比べ増加した。また、地域サロン交流会の実施等を通じて、一定の活性化を図ることができた。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
一般介護予防事業評価事業	長寿いきがい課
介護予防ケアマネジメント事業	長寿いきがい課
介護予防通所介護相当サービス事業	長寿いきがい課
介護予防訪問介護相当サービス事業	長寿いきがい課
活動型デイサービス事業	長寿いきがい課
高額医療合算介護予防サービス費相当事業	長寿いきがい課
高額介護予防サービス費相当事業	長寿いきがい課
高齢者配食サービス事業	長寿いきがい課
住民主体支援事業	長寿いきがい課
審査支払事務	長寿いきがい課
生活支援型訪問サービス事業	長寿いきがい課
短期集中予防サービス事業(通所型)	長寿いきがい課
短期集中予防サービス事業(訪問型)	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
43 私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
	偏差値	79.3	80.0			
44 私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
	偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	101	102						

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-02-①	施策名	地域包括ケアシステムの深化・推進	

施策の概要

助け合い・支え合う地域づくりを推進するとともに、医療や介護が必要になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができるよう、医療と介護が連携して、在宅生活を支援するサービスを一体的に提供できる体制を整えます。

成果指標(単位)	地域包括支援センターへの相談件数(件)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	24,200	25,200	26,200	27,200
実績値	23,300	23,078			

成果指標実績に対するコメント

地域住民の心身の健康の保持と生活安定のために、地域包括支援センターにおいて総合相談支援などの必要な支援を行っている。草津市地域包括支援センター相談実績より、令和7年度の相談件数は目標値を約1,000件下回る結果となった。相談内容の内訳については、介護や介護予防に関する相談は増加しているのに対し、権利擁護に関する相談が約1,000件減少しており、このことについては、成年後見センターもだまや法テラス(日本司法支援センター)における権利擁護支援を活用していることが要因として考えられる。

施策の達成度評価

高齢者が医療や介護等の支援が必要になっても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、住民が地域の課題を共有し、「我が事」ととらえ、課題解決に向けて話し合うために、各小学校区において「学区の医療福祉を考える会議」や地域包括支援センターが地域ケア推進会議を主催し、住民同士が支え合う地域づくりの機運を高め、民生委員やケアマネジャーの連携強化を図った。また、草津市在宅医療介護連携センターを核として、多様な組織・機関と協働しながら相談対応等を通じて在宅医療と介護の連携を進めることにより、切れ目のないサービスの提供につなげることができた。こうした助け合い・支えあう地域づくりや、医療と介護が連携して在宅生活を支援する取組を継続して実施する必要がある。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.35私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」「No.34暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」がある。こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、今後もより安心できるまちとなるよう、地域住民や学区社協、地域包括支援センター、介護事業所、医療機関等が連携しながら地域づくりや、高齢者への支援体制を整える取組を継続していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

地域の医療福祉の関係機関や地域関係者、各種団体とのネットワークづくりを推進し、多職種が相互に役割を発揮し、切れ目のない医療・介護のサービスを提供することで、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される体制づくり(地域包括ケアシステム)の深化・推進を図る。

高齢者総合相談・支援事業や在宅医療・介護連携推進事業を進めることで、「No.34 暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる」という点において、Well-Beingの向上につながると考えている。また、生活支援体制整備事業や地域ケア会議推進事業を進めることで、「No.35 私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする」の観点につながるため、上記施策を継続しながら、助け合い・支えあう地域づくりを推進していく。

■施策評価シート

10-02-①

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
生活支援体制整備事業	人とくらしのサポートセンター	○	各小学校区に生活支援コーディネーターを配置し、学区の医療福祉を考える会議を通じて、地域の医療・介護関係者等が地域の課題を共有し、課題解決に向けた支え合いの取組を検討・実施することができたため。
生活支援体制整備事業	長寿いきがい課	○	生活支援サポーター養成講座を開催し、地域で役割を持つ元気な高齢者を増やすとともに、社会参加のきっかけづくり、地域でお互いに支え合える仕組みづくりの推進を図ることができたため。
在宅医療・介護連携推進事業	長寿いきがい課	○	訪問診療医のネットワーク構築を目的とした在宅医療ネット会議について、今後需要が高まる在宅医療に関する基盤づくりの検討を行った。また、多職種連携交流会・研修会、多職種連携推進会議等を開催し、情報共有や多職種間の相互理解を深める機会を設けた。これらの取組により、医療と介護の連携体制の推進を図り、在宅医療と介護を一体的に提供できる体制の構築に努めたため。
高齢者総合相談・支援事業	長寿いきがい課	○	高齢者の身近な相談窓口である地域包括支援センターにおいて、地域住民や関係機関から延べ23,078件の相談を受けることで、早期に支援が必要な高齢者を把握し、適切な支援につなぐことができたため。
地域ケア会議推進事業	長寿いきがい課	○	自立支援地域ケアカンファレンスを開催し、多職種の専門職による多角的な助言を行うことで個別課題の抽出や適切なサービス提供の手法を習得することにより、高齢者の自立支援、重症化予防に資するケアマネジメントの充実を図った。 また、地域ケア個別会議を実施し、高齢者が抱える課題を地域の関係者や専門職と共有し、解決方法の検討を行った。個別会議で把握した個別課題を整理し、地域課題を抽出、地域ケア推進会議で地域課題の共有や解決方法の検討を行ったため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
すっきりさわやかサービス事業	介護保険課
自動車改造支援事業	長寿いきがい課
緊急通報システム設置支援事業	長寿いきがい課
シルバーほっとカード発行事業	長寿いきがい課
地域自立生活支援事業	長寿いきがい課
ふとんクリーンサービス事業	長寿いきがい課
家族介護教室事業	長寿いきがい課
外出支援サービス事業	長寿いきがい課
高齢者成年後見制度利用支援事業(一般会計)	長寿いきがい課
生活管理指導短期宿泊事業	長寿いきがい課
長寿祝金等支給事業	長寿いきがい課
日常生活用具給付事業	長寿いきがい課
福祉理髪サービス事業	長寿いきがい課
包括的・継続的ケアマネジメント支援事業	長寿いきがい課
老人小規模住宅改造費補助事業	長寿いきがい課
老人福祉施設入所措置事業	長寿いきがい課
老人福祉施設入所判定事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】										
主観指標項目		区分	令和6年度		令和7年度		令和8年度		令和9年度	令和10年度
34	暮らしている地域には、困ったときに相談できる人が身近にいる	実数	2.9		2.9					
		偏差値	60.7		61.3					
35	私は、町内(集落)の人が困っていたら手助けをする	実数	3.4		3.5					
		偏差値	78.3		80.0					
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5		3.5					
		偏差値	79.3		80.0					
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6		3.7					
		偏差値	79.7		80.0					

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		101	102						

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-02-②	施策名	認知症施策の推進	

施策の概要

認知症の人もその家族も安心して生活できるまちの実現に向けて、認知症に関する正しい知識と理解の普及啓発を推進し、認知症を「我が事」と捉え、声かけ・見守りなど地域での関係づくりを進めることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進します。

成果指標(単位)	認知症サポーター養成講座受講者数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		1,000	1,100	1,200	1,300
実績値	860	1,026			

成果指標実績に対するコメント

認知症について正しい理解の普及等を目的として認知症サポーター養成講座を実施した結果、受講者数は目標値を上回った。認知症を自分事と捉えて受講している方が多く、認知症の人およびその家族が安心して生活できるまちの実現に向けて、認知症施策を継続して実施していることに対する市民の評価が表れたものとする。

施策の達成度評価

認知症サポーター養成講座や認知症カフェ等を推進した結果、認知症の人も地域で暮らす一員としての見守りや交流の広がりをつくることができた。また、地域や医療・介護関係者と連携し、早期発見・支援体制の構築を推進することができた。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.44 私は、精神的に健康な状態である」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.6私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」であり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。本市は、全国に先駆けて「草津市認知症があっても安心なまちづくり条例」を制定し、認知症の人やその家族の視点を尊重して認知症施策を推進しており、こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、ウェルビーイングの観点からも、引き続き、より効果的な取組となるよう、本人ミーティング等で認知症の人や家族と対話しながら、各種施策を推進していく。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

草津市認知症があっても安心なまちづくり条例に規定する基本理念の実現に向けて、認知症の人とその家族の視点を尊重し、認知症に関する正しい知識と理解の普及・啓発、声かけ・見守りなどの地域での関係づくりを進めることで、誰もが安心して暮らせる地域づくりを推進する。

認知症施策は誰もが安心して暮らせる地域づくりにつながるだけでなく、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」「No.43 私は、身体的に健康な状態である」「No.44 私は、精神的に健康な状態である」といった指標にかかるウェルビーイング向上にも資する取組であると考えており、指標の偏差値が高水準であったことを踏まえ、ウェルビーイング向上の観点からも、認知症サポーター養成講座をはじめ、各種認知症施策を実施していく。

■施策評価シート

10-02-②

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
認知症総合支援事業	長寿いきがい課	○	各地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を配置し、認知症の人やその家族を支援する相談業務等を行った。 また、認知症初期集中支援事業について、9名の対象者に対して、チーム員会議を10回開催、訪問支援を31回行い、関係機関と連携を図ることで、対象者の半数以上が早期に必要な医療や介護サービスにつながったため。
認知症施策推進事業	長寿いきがい課	○	草津市認知症施策アクション・プランに基づき、認知症サポーター養成講座や地域安心声かけ訓練の開催、見守りネットワーク事業の周知を実施したことにより、認知症の人およびその家族のネットワークの強化につながった。また、認知症本人ミーティングを3回開催し、認知症の人が気軽に語り合える機会の創出と、認知症の人同士の交流につながった。
権利擁護事業	長寿いきがい課	○	高齢者虐待通報が56件であり、虐待を早期に発見できるよう、関係機関へ周知・啓発を行うとともに、処遇検討会議や支援ネット会議を計12回開催し、高齢者の尊厳ある生活を確保するための支援について検討した。
高齢者成年後見制度利用支援事業(特別会計)	長寿いきがい課	○	申立費用および後見報酬にかかる補助金の交付を行うとともに、被後見人の状況を把握し、裁判所への申立者がいないケースは市長申立を行うなど、高齢者の成年後見制度の利用を促進した。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
認知症高齢者等探索システム利用支援事業	長寿いきがい課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
	偏差値	58.0	63.0			
43 私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
	偏差値	79.3	80.0			
44 私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
	偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	8	101	102					

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-02-③	施策名	介護サービスの充実	

施策の概要
要支援・要介護の状態にあっても、誰もがその人らしく豊かな高齢期を過ごすことができるよう、介護サービスの適正水準の維持・向上を図ります。また、介護人材の定着や確保に向けた取組を進めます。

成果指標(単位)	介護保険サービスの標準給付費(千円)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	9,704,453	10,065,814	10,463,333	10,876,551
実績値	9,315,554	9,581,947			

成果指標実績に対するコメント
令和6年度の標準給付費(実績値)9,211,583千円と比較すると、令和7年度は9,581,947千円で約104%の実績となっており、令和7年度計画値である9,704,453千円に対しては約98.7%の実績であり、おおむね目標としていた値となっている。 これは、介護給付適正化事業(「要介護認定の適正化」「ケアプランの点検」「住宅改修等の点検」「縦覧点検・医療情報との突合」など)の取組の効果によって、介護給付を必要とする利用者を適切に認定し、利用者が真に必要なとするサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができたことが要因のひとつであると考えられる。

施策の達成度評価
令和6年3月に策定した「草津あんしんいきいきプラン第9期計画」(計画期間:令和6年度～令和8年度)における令和7年度の目標値に対して、おおむね計画どおりの実績となっている。 高齢化の進展に伴う要支援・要介護認定者数の増加等を要因として、今後も介護保険に係る給付費が右肩上がりになることが想定されることを踏まえて、引き続き適正な制度運用を行っていく必要がある。 また、将来にわたる介護保険制度の持続性を確保するためには、介護人材の定着や確保が重要である。 当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.43 私は、身体的に健康な状態である」、「No.44 私は、精神的に健康な状態である」、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度の観点からも、引き続き利用者が真に必要なとするサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができるよう、介護給付適正化事業および介護・福祉人材確保定着支援事業の取組を実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
適正な制度運用を行い、介護サービスの適正水準の維持・向上を図るため、引き続き、介護給付適正化の取組を継続する。 また、介護サービスの安定供給を図るため、介護人材の定着や確保に向けた取組についても、引き続き実施していく。
介護給付適正化事業および介護・福祉人材確保定着支援事業の取組は、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」、「No.44 私は、精神的に健康な状態である」、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかる地域幸福度向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度向上の観点からも継続して実施していく。

■ 施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
居宅介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比106.1%となった。
地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比102.9%となった。
施設介護サービス給付事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時における想定をやや下回ったものの、適正な給付を行うことができたため。 なお、給付実績ベースでは前年度比101.5%となった。
介護・福祉人材確保定着支援事業	介護保険課	○	草津あんしんいきいきプラン第9期計画策定時のほぼ想定どおりであり、関係機関との広域的な連携を行うことができたため。 また、若年層への介護職の魅力発信を目的とした介護助体験を企画・実施した。

■施策評価シート

10-02-③

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
施設整備費補助事務	介護保険課
地域密着型サービス等推進事業	介護保険課
老人福祉推進事務	長寿いきがい課
高額医療合算介護サービス事業	介護保険課
高額介護サービス事業	介護保険課
高額介護予防サービス事業	介護保険課
すっきりさわやかサービス事業	介護保険課
特定入所者介護サービス事業	介護保険課
特定入所者介護予防サービス事業	介護保険課
訪問介護利用者負担軽減事業	介護保険課
介護予防サービス給付事業	介護保険課
介護予防サービス計画給付事業	介護保険課
介護予防住宅改修事業	介護保険課
介護予防福祉用具購入事業	介護保険課
居宅介護サービス計画給付事業	介護保険課
居宅介護住宅改修事業	介護保険課
居宅介護福祉用具購入事業	介護保険課
社会福祉法人助成事業	介護保険課
地域密着型介護予防サービス給付事業	介護保険課
特例介護予防サービス給付事業	介護保険課
特例介護予防サービス計画給付事業	介護保険課
特例居宅介護サービス給付事業	介護保険課
特例居宅介護サービス計画給付事業	介護保険課
特例施設介護サービス給付事業	介護保険課
特例地域密着型介護サービス給付事業	介護保険課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】						
主観指標項目	区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
	偏差値	58.0	63.0			
43 私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
	偏差値	79.3	80.0			
44 私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
	偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)	5	101	102					

■施策評価シート 10-02-④

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	長寿・介護
基本方針	あんしんできる高齢期の生活への支援		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	10-02-④	施策名	介護保険制度の適正運用	

施策の概要
介護保険制度等の理解促進と利用支援、要介護認定、ケアマネジメント、事業者のサービス提供体制および介護報酬請求においてチェック体制を整備し、適正化の取組を進めます。

成果指標(単位)	介護保険料収納率(%)				
	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値	(※基準値)	99.6	99.6	99.6	99.6
実績値	99.7	99.7			

成果指標実績に対するコメント
前年度に引き続き督促や催告等を含めた滞納対策に取り組んだ結果、介護保険料収納率の目標値である99.6%を達成することができた。

施策の達成度評価
・介護保険料収納率については、目標値を達成し、適切な徴収業務を実施できた。 ・要介護認定についても、審査請求による審査差戻し等は発生せず、適正な運用を行うことができた。 ・介護給付費の適正化の観点からは、ケアマネジャーに対するケアプラン点検の実施(60件)や住宅改修の事前確認、軽度者に対する福祉用具貸与のチェック等を通じて適正な介護サービスの利用促進を行うことができた。 ・市内の地域密着型サービス事業所に対する書面確認による実施を含む運営指導(29件)により、サービス提供体制や介護報酬請求に関して事業者への指導を行うことができた。 ・要支援・要介護認定者数の増加が見込まれる中、適正化の取組を継続することが課題である。 当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、偏差値が高い順に「No.43 私は、身体的に健康な状態である」、「No.44 私は、精神的に健康な状態である」、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、いずれも偏差値が60を上回る結果であった。 こうした偏差値が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度の観点からも、引き続き利用者が真に必要なサービスを介護サービス事業者が過不足なく提供することができるよう、介護給付適正化事業の取組を実施していきたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
・介護保険料収納率については、本収納率が維持できるように滞納対策等の徴収業務に取り組む。 ・要介護認定については、認定件数が増加する傾向にあるが、適正な認定調査水準および審査水準を維持することで、不服申し立てによる審査差戻し等が発生しないよう、適正な認定審査に取り組む。 ・介護給付費の適正化については、引き続き、ケアプラン点検や住宅改修の事前承認、軽度者に対する福祉用具貸与のチェック等を実施するとともに、運営指導を行い、適切な介護サービスの利用を促進する。 介護給付適正化事業の取組は、「No.43 私は、身体的に健康な状態である」、「No.44 私は、精神的に健康な状態である」、「No.6 私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」といった指標にかかる地域幸福度向上にも資する取組であると考えており、こうした指標が高い水準であったことを踏まえ、地域幸福度向上の観点からも継続して実施していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
介護保険制度啓発普及事業	介護保険課	○	介護保険制度に関するパンフレットを郵送・配布することで啓発に努めた。また、広報くさつへの掲載や出前講座を利用して介護保険制度の啓発を実施することで、制度の周知を図った。
介護認定事務	介護保険課	○	審査請求による審査差戻しが0人であり、年間を通じて適正な介護認定事務を行った。また、審査会システムのDX化により、審査会資料作成時間が短縮され、事務の効率化が図れた。
介護給付費等適正化事業	介護保険課	○	ケアマネジャーに対するケアプラン点検の実施により、介護給付費の適正化を推進した。また、市内地域密着型サービス事業所に対して運営指導および集団指導を行い、介護サービスの質の向上に寄与した。

■施策評価シート 10-02-④

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
介護保険事業計画推進事業	長寿いきがい課
介護保険事務処理システム運営事業	介護保険課
介護保険制度運営事務	介護保険課
介護保険料管理回収事務	介護保険課
介護保険料賦課徴収事務	介護保険課
国保連合会点検・審査手数料事務	介護保険課
国保連合会負担金事務	介護保険課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			
43	私は、身体的に健康な状態である	実数	3.5	3.5			
		偏差値	79.3	80.0			
44	私は、精神的に健康な状態である	実数	3.6	3.7			
		偏差値	79.7	80.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		101	102						

11.障害福祉に関する施策

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	11-01-①	施策名	障害のある人の暮らしを支えるサービス基盤の充実	

施策の概要
障害のある人のいのちと健康を守り、安心して日常生活が送れるようにするため、保健・医療・福祉等の関係機関の連携に努めるとともに、日常生活支援等の充実や細やかな相談支援を通じた障害福祉サービスの提供や施設整備の支援を行い、暮らしを支える基盤の充実と安定を図ります。

成果指標(単位)	計画相談支援利用率(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		90.8%	92.8%	94.8%	96.8%
実績値	88.8%	88.9%			

成果指標実績に対するコメント
計画相談支援利用率について、前年度より0.1%増加した。障害福祉サービスの利用者が増加する中で、基幹相談支援センターや各相談支援事業所と連携して計画相談支援を実施したことが利用率の上昇につながったと考えられるものの、目標値には及ばなかったことから、より多くの障害福祉サービス利用者が計画相談支援事業を利用され適切なケアマネジメントが行われるように、事業所等と継続して取り組んでいく必要がある。

施策の達成度評価
関係機関と連携しながら、障害のある人の現状に即した障害福祉サービスの提供を実施した。また、施設整備に対する支援や計画相談事業所への補助等を行い、暮らしを支えるサービス基盤の充実に取り組んだことで、障害福祉サービスの利用者が増加する中でも、相談支援や日常生活支援、家族等への支援に係るサービスを適切に提供することができたと思う。引き続き、サービス基盤の充実を図りたい。
当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、偏差値が昨年度実績を上回る数値となった。 障害のある人が自立した日常生活、社会生活を営むことができるように、各種障害福祉サービスの維持と適正運用、施設整備の促進等により、引き続きサービス基盤の充実を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方
引き続き、障害のある人のケアマネジメントを充実し、より利用者の現状に即した支援を提供することができるよう、計画相談支援事業所やサービス提供事業所など関係機関との連携を強化し、暮らしを支える基盤の充実と安定に取り組む。
相談支援体制を強化していくことは、様々な障害福祉サービスや給付・補助事業につながるものであることから、「No.6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」の指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、障害福祉サービス提供基盤の充実に取り組む。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
居宅介護事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
生活介護事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
サービス利用計画事業	障害福祉課	○	サービス等利用計画の作成により、適正なサービスの利用につながったため。

■施策評価シート 11-01-①

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
24時間対応型利用制度支援事業	障害福祉課
育成医療給付事業	障害福祉課
医療的ケア児保護者支援事業	障害福祉課
行動援護事業	障害福祉課
人材育成研修受講支援事業	障害福祉課
施設整備費補助金事務	障害福祉課
共同生活援助事業	障害福祉課
緊急通報システム支援事業	障害福祉課
軽度・中等度難聴児補聴器購入費等助成事業	障害福祉課
湖南地域地域活動支援センター事業	障害福祉課
更生医療給付事務	障害福祉課
高額障害福祉サービス等給付事業	障害福祉課
在宅重度障害者住宅改造費補助金事務	障害福祉課
施設入所支援事業	障害福祉課
滋賀型地域活動支援センター運営費補助金事務	障害福祉課
自立訓練事業	障害福祉課
社会的事業所運営費補助金事務	障害福祉課
重度訪問介護事業	障害福祉課
障害支援区分認定事務	障害福祉課
障害者施設家賃補助事業	障害福祉課
障害者紙おむつ助成事業	障害福祉課
障害者自立支援事業所運営費補助事業	障害福祉課
障害者生活支援システム運用事業	障害福祉課
障害者福祉計画推進事業	障害福祉課
相談支援機能強化事業	障害福祉課
短期入所事業	障害福祉課
地域相談支援給付事業	障害福祉課
同行援護事業	障害福祉課
特別障害者手当等給付事業	障害福祉課
日常生活用具給付事業	障害福祉課
日中一時支援事業	障害福祉課
補装具給付事業	障害福祉課
訪問入浴サービス事業	障害福祉課
療養介護医療給付事業	障害福祉課
療養介護事業	障害福祉課
指定特定相談支援体制強化事業	障害福祉課
重症心身障害者通所施設運営費補助金事務	障害福祉課
基幹相談支援事業	障害福祉課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		7							

■施策評価シート

11-01-②

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち		分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進		基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	11-01-②	施策名	障害のある人の社会参加の促進	

施策の概要

ともに育ち、学び、遊び、輝けるような暮らしやすい社会づくりを進めるため、就労支援や外出支援、コミュニケーション支援等の充実を図ります。

成果指標(単位)	福祉施設から一般就労への移行者数(人)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		28	31	34	37
実績値	26	30			

成果指標実績に対するコメント

福祉施設から一般就労への移行者数について、前年度より4名増加し、目標値を達成することができた。職場体験や実務訓練、ビジネスマナー習得、面接対応等の就労サポートを利用者に寄り添って実施したことが実績に結びついたと考える。

施策の達成度評価

関係機関と連携しながら、障害のある人が社会参加できる環境を整え、個々の能力を発揮できる環境づくりを進めたことで、就労支援や外出支援等に係るサービスを適切に提供することができたと考える。特に、就労系サービスについては、丁寧にアセスメントを実施し、利用者の意向や能力、経験を基に、必要とされるサービスに結びつけることができた。引き続き、利用者の意向や特性に寄り添ったサービスの提供を図りたい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「6.私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」があり、偏差値が昨年度実績を上回る結果となった。
就労継続支援事業や移動支援事業、コミュニケーション支援事業等の各種取組を継続して実施することにより、障害のある人のさらなる社会参加につなげたい。

評価に基づいた令和9年度取組についての考え方

引き続き、就労支援や外出支援、コミュニケーション支援等の取組を推進する。また、令和9年度より就労選択支援事業の対象となる範囲が拡大することから、就労系サービス事業所や相談支援事業所などの関係機関と連携をさらに強化して事業を展開する。

「No.6私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい」の指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、関係機関と連携して障害のある人の社会参加につながる取組を実践していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
就労継続支援事業	障害福祉課	○	障害者のニーズに対して適切なサービス決定を行い、生活基盤の充実につながったため。
移動支援事業	障害福祉課	○	屋外での移動が困難な障害のある人の自立した生活および社会参加を促進することができたため。
コミュニケーション支援事業	障害福祉課	○	手話通訳者および要約筆記者の派遣を通じて、障害がある人の社会参加につながったため。また、手話奉仕員養成講座の開催により、手話通訳者の養成が図れたため。

■施策評価シート 11-01-②

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
孤立化防止対策事業	障害福祉課
自動車改造支援事業	障害福祉課
自動車燃料・福祉タクシー運賃助成事業	障害福祉課
社会参加促進事業	障害福祉課
就労移行支援事業	障害福祉課
障害者就労促進事業	障害福祉課
障害者相談員活動事業	障害福祉課
精神障害者生活支援推進事業	障害福祉課
点字新聞購読費助成事業	障害福祉課
重度障害者等就労支援事業	障害福祉課
手話通訳員配置事業	障害福祉課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未満の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
6	私の暮らしている地域では、介護・福祉施設のサービスが受けやすい	実数	3.4	3.4			
		偏差値	58.0	63.0			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】									備考
客観指標No. (令和7年度)		7							

■施策評価シート

11-01-③

まちづくりの基本目標	「笑顔」輝くまち	分野	障害福祉
基本方針	共に生きる社会の推進	基本方針に関連するSDGsの目標	     
施策番号	11-01-③	施策名	障害と障害のある人への理解促進と尊厳の保持

施策の概要

すべての人権が守られ、一人ひとりの尊厳が保たれるようにするため、障害者福祉センターを核とした多様なふれあい・交流や知識普及と意識啓発により、障害と障害のある人についての理解促進を図るとともに、成年後見制度の利用支援や虐待防止対策事業の推進等に努めます。

成果指標(単位)	「共に生きる社会の推進」に満足している市民の割合(%)				
	令和6年度 (※基準値)	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
目標値		19	21	23	25
実績値	16	17.4			

成果指標実績に対するコメント

市民意識調査の結果、「共に生きる社会の推進」に満足している市民の割合は前年度に比べて1.4ポイント増加した。事業の参加者には意識啓発・理解促進が図れたことが満足度の上昇につながったと考えられるものの、目標値には及ばなかったことから、より多くの市民に届くように継続した啓発が必要である。

施策の達成度評価

成年後見制度の利用促進や虐待防止対策にかかる事業を実施した。また、12月の障害者週間に合わせたパネル展示等の啓発や草津手をつなぐ育成会との協働事業による出前講座等を実施した結果、権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進を図れたことで、満足度の上昇につながったと考えられる。引き続き、障害と障害のある人についての理解促進を図りたい。

当該施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標は、「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.37 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」があり、いずれも偏差値が昨年度実績を上回る数値となった。各種の取組を継続して実施することにより、引き続き、権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進を図りたい。

評価に基づいた令和9年度の取組についての考え方

引き続き、成年後見制度の利用促進や虐待防止対策にかかる事業を実施し、権利擁護の取組を推進する。また、障害者福祉センターを核とした多様なふれあい・交流や意識啓発等を継続するとともに、草津手をつなぐ育成会との協働事業を行う等、障害と障害のある人への理解がより多くの市民に広がるよう、関係機関と連携して事業を展開する。

「No.19 暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である」「No.37 この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある」といった指標にかかるウェルビーイング向上の観点から、引き続き、関係機関と連携して権利擁護の推進および障害と障害のある人についての理解促進に係る取組を実践していく。

■施策に含まれる主要事業一覧

主要事業	担当課	成果達成度 (主要事業のみ)	達成度評価理由
障害者福祉センター管理運営事業	障害福祉課	○	多様な啓発活動などを適切に実施することができたため。
成年後見制度利用支援事業	障害福祉課	○	電話、訪問等による相談、申立支援を通じて、成年後見制度の利用につながったため。
障害者虐待防止対策支援事業	障害福祉課	○	支援体制の専門性の強化を図ったり、被虐待者を一時的に保護する居室等の確保を行うことで、虐待事案への備えや対応を図ることができたため。

■施策に含まれるその他の事業一覧

事務事業	担当課
精神保健福祉対策事業	障害福祉課
各種団体活動費補助金事務	障害福祉課
障害福祉推進事務	障害福祉課

成果達成度の表示について

- ◎ 期待を超える成果があった
- 期待どおりの成果があった
- △ 期待未達の成果であった

※施策に含まれる事務事業のうち、主要事業についてのみ記載しています。

■施策に関連する地域幸福度(Well-Being)指標

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【主観指標】							
主観指標項目		区分	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
19	暮らしている地域の公共施設は使い勝手がよく便利である	実数	3.1	3.2			
		偏差値	55.2	57.9			
37	この町内(集落)には、どんな人の意見でも受け入れる雰囲気がある	実数	2.9	2.9			
		偏差値	57.7	58.4			

関連する地域幸福度(Well-Being)指標【客観指標】								備考
客観指標No. (令和7年度)		96						